

第1章 政策評価（“幸せ実感”大竹まちづくりアンケート調査結果）

第1節 調査の概要

1 調査の目的

市では、まちづくりの指針として、将来像や理念を定めた「大竹市まちづくり基本構想」を令和2年度に策定しました。「大竹市まちづくり基本構想」では、おおむね30年後の幸せなまちの未来を描き、その実現に向けて「教育・文化」や「産業・雇用」などの分野別にまちづくりに取り組んでいます。

このアンケートは、基本計画におけるまちづくりのテーマである「生涯おおたけ やっぱりおおたけ」と市民の皆様が思えるようなまちに近づけているか、普段の生活がよりよくなってきているかの実感を、市民の皆様におたずねするために実施しました。

2 調査の内容

(1) 調査対象

大竹市内に在住する満18歳以上の男女
(住民基本台帳法に基づく登録者(令和4年6月30日現在))

(2) 標本数

2,000人

(3) 抽出方法

地区別層化抽出

(4) 調査方法

調査用紙の発送・回収ともに郵送方式
回収についてはインターネット回答を併用

(5) 調査期間

令和4年7月4日(月)～7月29日(金)

(6) 有効回答数及び回収率

回答数 628件(31.4%)
(527件(26.4%) (郵送))
(101件(5.0%) (インターネット))

【注意】

百分率は小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで示しており、百分率の合計が100%にならない場合があります。性別や年齢などの基本情報などが未記入の場合は、その条件による分析ができず、数値に反映することができないため、回答者総数と回答数が一致しない場合があります。

また、属性別調査の分類で回答数が少ない場合、傾向などが把握できないため、省略している場合があります。

(7) 回答者構成

属 性		配布数	回答数	構成割合	回収割合
性別	男	500 人	261 人	41.6 %	52.2 %
	女	500 人	337 人	53.7 %	67.4 %
	無回答		30 人	4.8 %	
年齢	18～29歳	259 人	39 人	6.2 %	15.1 %
	30～39歳	242 人	56 人	8.9 %	23.1 %
	40～49歳	258 人	69 人	11.0 %	26.7 %
	50～59歳	264 人	72 人	11.5 %	27.3 %
	60～69歳	289 人	104 人	16.6 %	36.0 %
	70歳以上	688 人	267 人	42.5 %	38.8 %
	無回答		21 人	3.3 %	
住所	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野	699 人	222 人	35.4 %	31.8 %
	西栄、南栄、東栄、北栄	377 人	95 人	15.1 %	25.2 %
	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘	519 人	153 人	24.4 %	29.5 %
	阿多田	17 人	3 人	0.5 %	17.6 %
	防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷	27 人	9 人	1.4 %	33.3 %
	玖波、玖波町、湯舟町	308 人	107 人	17.0 %	34.7 %
	松ヶ原町	21 人	4 人	0.6 %	19.0 %
	栗谷町	32 人	9 人	1.4 %	28.1 %
	無回答		26 人	4.1 %	

3 調査項目

【分野別】

- (1) 教育・文化 分野（設問数：5「広く社会で活躍する人を育むまちづくり」について など）
- (2) 産業・雇用 分野（設問数：4「活気ある産業のまちづくり」について など）
- (3) 生活・環境 分野（設問数：6「快適で暮らしやすいまちづくり」について など）
- (4) 安全・安心 分野（設問数：5「災害に強いまちづくり」について など）
- (5) 健康・福祉 分野（設問数：5「子どもが健やかに育つまちづくり」について など）
- (6) 自治・行政運営 分野（設問数：4「市民と行政の協働」について など）
- (7) まとめ（6分野の中で特に力を入れてほしいもの）

【自由筆記】

最近「幸せだな」と感じたこと

【回答者の属性】

- (1) 性別
- (2) 年齢
- (3) 住所

第2節 アンケート分析

1 総括（全体）分析

（1）単純集計結果（分野・設問別「はい」の割合）

大竹市まちづくり基本構想の「分野別取組宣言」の6分野21項目に対する設問について、普段思っていることをおたずねしました。

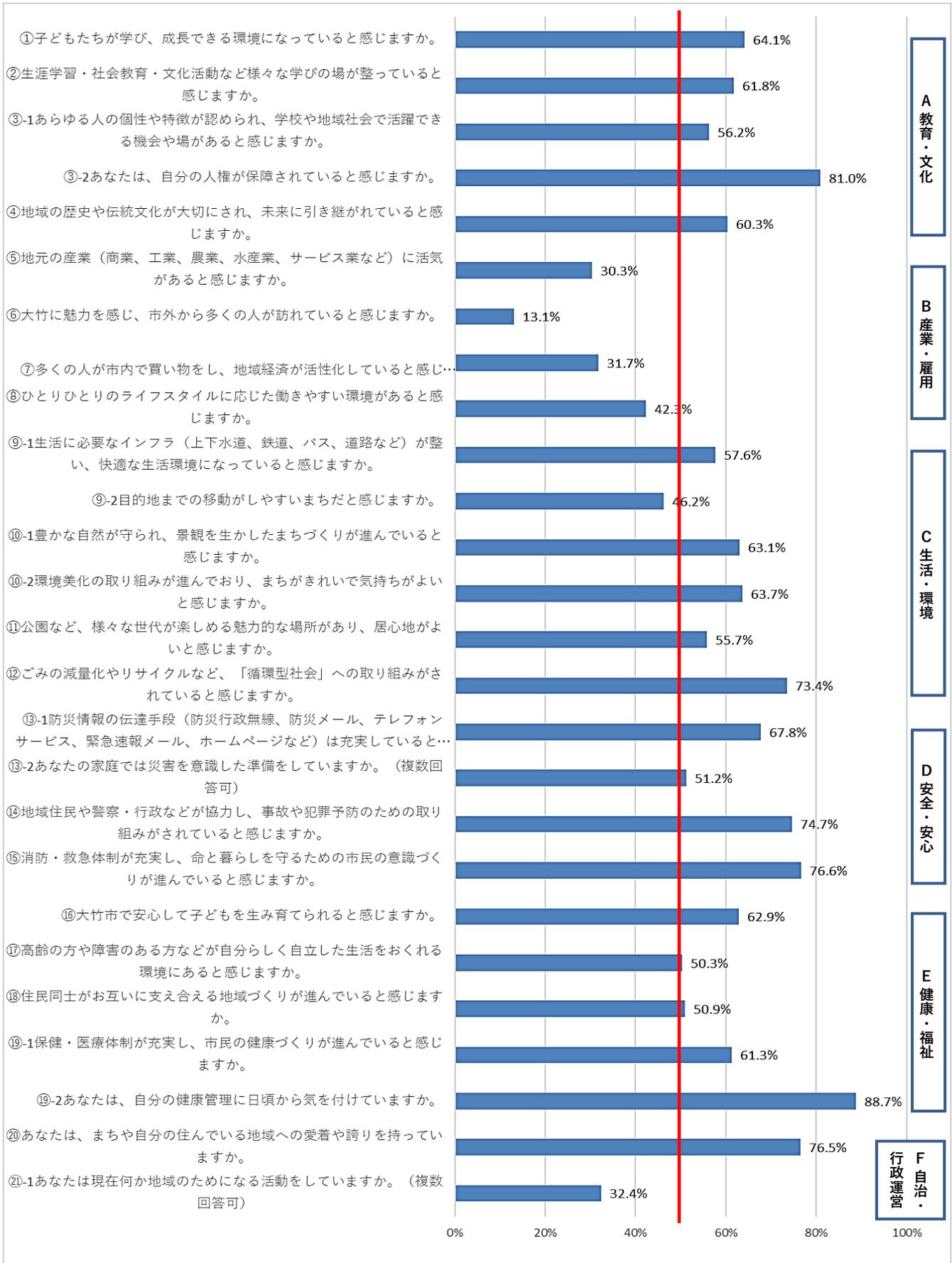
各設問に「はい」と答えた人の割合を算出し、その値が高いほど、市民の幸せ感も高いと判断します。

分野	分野別取組宣言	設問番号	設問	R3							
				回答数（人）				設問の「はい」		分野の「はい」	
				はい	個別 選択肢	いいえ	有効 回答数	割合	順位	割合	順位
A 教育・ 文化	広く社会で活躍する人を育むまちづくり	①	子どもたちが学び、成長できる環境になっていると感じますか。	375	/	210	585	64.1%	8	64.7%	2
	学び楽しむ心豊かなまちづくり	②	生涯学習・社会教育・文化活動など様々な学びの場が整っていると感じますか。	362	/	224	586	61.8%	12		
	一人ひとりを大切に するまちづくり	③-1	あらゆる人の個性や特徴が認められ、学校や地域社会で活躍できる機会や場があると感じますか。	329	/	256	585	56.2%	16		
		③-2	あなたは、自分の人権が保障されていると感じますか。	472	/	111	583	81.0%	2		
歴史や文化を大切に するまちづくり	④	地域の歴史や伝統文化が大切にされ、未来に引き継がれていると感じますか。	355	/	234	589	60.3%	14			
B 産業・ 雇用	活気ある産業のまちづくり	⑤	地元の産業（商業、工業、農業、水産業、サービス業など）に活気があると感じますか。	181	/	416	597	30.3%	25	29.3%	6
	多くの人を訪れるまちづくり	⑥	大竹に魅力を感じ、市外から多くの人を訪れていると感じますか。	79	/	525	604	13.1%	26		
	地域経済が元気なまちづくり	⑦	多くの人々が市内で買い物をし、地域経済が活性化していると感じますか。	193	/	415	608	31.7%	24		
	安心して働けるまちづくり	⑧	ひとりひとりのライフスタイルに応じた働きやすい環境があると感じますか。	250	/	341	591	42.3%	22		
C 生活・ 環境	快適で暮らしやすいまちづくり	⑨-1	生活に必要なインフラ（上下水道、鉄道、バス、道路など）が整い、快適な生活環境になっていると感じますか。	349	/	257	606	57.6%	15	60.0%	4
		⑨-2	目的地までの移動がしやすいまちだと感じますか。	277	/	323	600	46.2%	21		
	自然と調和するまちづくり	⑩-1	豊かな自然が守られ、景観を生かしたまちづくりが進んでいると感じますか。	374	/	219	593	63.1%	10		
		⑩-2	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちよと感じますか。	373	/	213	586	63.7%	9		
	楽しさと憩いにあふれるまちづくり	⑪	公園など、様々な世代が楽しめる魅力的な場所があり、居心地がよと感じますか。	330	/	262	592	55.7%	17		
	環境にやさしいまちづくり	⑫	ごみの減量化やリサイクルなど、「循環型社会」への取り組みがされていると感じますか。	448	/	162	610	73.4%	6		
D 安全・ 安心	災害に強いまちづくり	⑬-1	防災情報の伝達手段（防災行政無線、防災メール、テレホンサービス、緊急速報メール、ホームページなど）は充実していると感じますか。	395	/	188	583	67.8%	7	67.6%	1
		⑬-2	あなたの家庭では災害を意識した準備をしていますか。（複数回答可）	297	/	283	580	51.2%	18		
		⑬-3①	自宅周辺で起こり得る自然災害をハザードマップで確認している。	/	245	/	/	/	/		
		⑬-3②	災害の状況に合わせた避難先（避難場所、親戚や知人宅、ホテルを含む）を決めている。	/	207	/	/	/	/		
		⑬-3③	大きな災害があった時のために水や食料を3日分程度備蓄している。	/	169	/	/	/	/		
		⑬-3④	その他	/	36	/	/	/	/		
	事故や犯罪の少ないまちづくり	⑭	地域住民や警察・行政などが協力し、事故や犯罪予防のための取り組みがされていると感じますか。	436	/	148	584	74.7%	5		
	命を大切に するまちづくり	⑮	消防・救急体制が充実し、命と暮らしを守るための市民の意識づくりが進んでいると感じますか。	455	/	139	594	76.6%	3		

E 健康・福祉	子どもが健やかに育つまちづくり	⑯	大竹市で安心して子どもを産み育てられると感じますか。	361	213	574	62.9%	11	62.9%	3
	誰もが自分らしく生きるまちづくり	⑰	高齢の方や障害のある方などが自分らしく自立した生活をおくれる環境にあると感じますか。	296	293	589	50.3%	20		
	見守り支え合うまちづくり	⑱	住民同士がお互いに支え合える地域づくりが進んでいると感じますか。	303	292	595	50.9%	19		
	みんないきいき元気なまちづくり	⑲-1	保健・医療体制が充実し、市民の健康づくりが進んでいると感じますか。	367	232	599	61.3%	13		
⑲-2		あなたは、自分の健康管理に日頃から気を付けていますか。	540	69	609	88.7%	1			
F 自治・行政運営	地域を愛する人づくり	⑳	あなたは、まちや自分の住んでいる地域への愛着や誇りを持っていますか。	459	141	600	76.5%	4	54.1%	5
	市民と行政の協働	㉑-1	あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか。（複数回答可）	191	398	589	32.4%	23		
		㉑-2①	自治会活動	156						
		㉑-2②	PTA活動	30						
		㉑-2③	自主防災組織活動	15						
		㉑-2④	子どもや高齢者の見守り	36						
		㉑-2⑤	あいさつ運動	33						
		㉑-2⑥	環境美化活動	66						
		㉑-2⑦	介護ボランティア	9						
		㉑-2⑧	地域行事の運営	47						
		㉑-2⑨	その他	21						
㉑-3	「いいえ」の人 今後「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」と思いますか。	189	172	361						

6分野のうち、特に力を入れてほしい分野をおたずねしました。

分野	設問	R3					
		回答数（人）				個別選択肢	
		はい	個別 選択肢	いいえ	有効 回答数	割合	順位
まとめ	A	教育・文化 分野	100			16.8%	3
	B	産業・雇用 分野	96			16.1%	4
	C	生活・環境 分野	151			25.4%	2
	D	安全・安心 分野	65			10.9%	5
	E	健康・福祉 分野	156			26.2%	1
	F	自治・行政運営 分野	27			4.5%	6
	合計		595				



(2) 分野別評価

項目比較での順位は、次のとおりです。

【分野別肯定評価】

分野別の肯定評価を受けた上位3位は「D安全・安心」分野、「A教育・文化」分野、「E健康・福祉」です。6分野中5分野が50%を超えています。

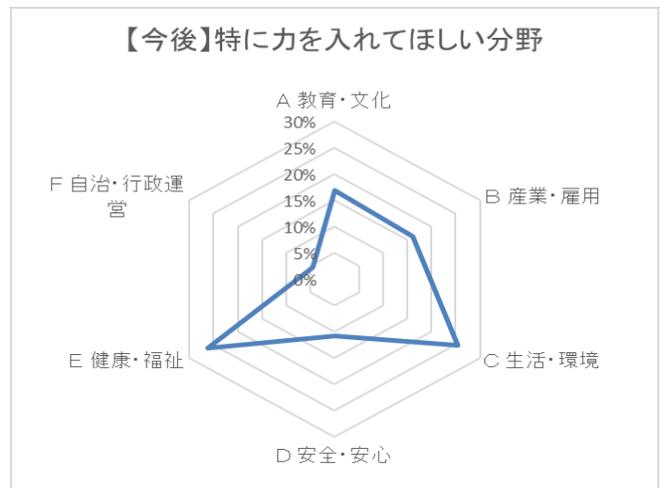
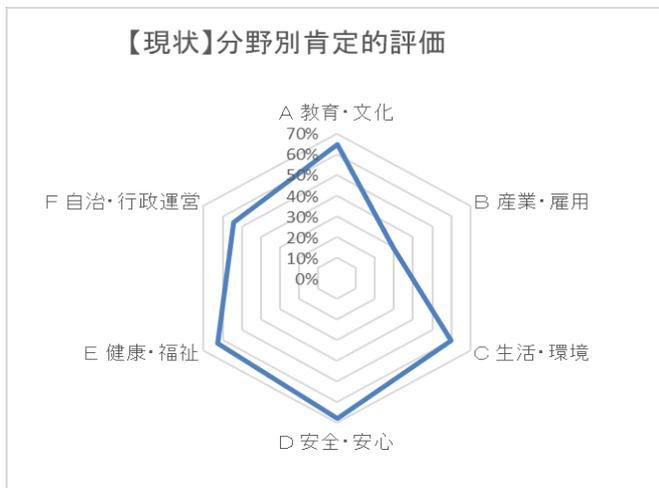
最も低い評価となったのが「B産業・雇用」分野で50%を大きく下回っています。

【特に力を入れてほしい分野】

特に力を入れてほしいと思う分野の上位3位は「E健康・福祉」分野、「C生活・環境」分野、「A教育・文化」分野です。この3分野の合計は約68%となります。

最も低い評価となったのが「F自治・行政運営」分野でした。

分 野	肯定評価の割合	順 位	特に力を入れてほしい分野	順 位
A 教育・文化	64.7%	2	16.8%	3
B 産業・雇用	29.3%	6	16.1%	4
C 生活・環境	60.0%	4	25.4%	2
D 安全・安心	67.6%	1	10.9%	5
E 健康・福祉	62.9%	3	26.2%	1
F 自治・行政運営	54.1%	5	4.5%	6



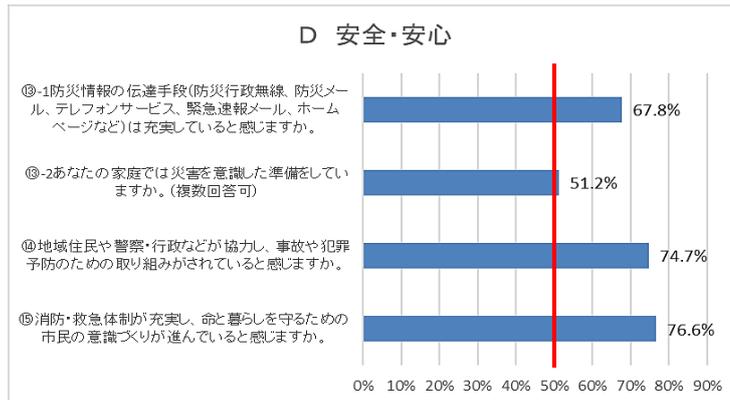
【設問別順位】

肯定評価の上位3位及び下位3位の設問の状況は、次のとおりです。

順位	分 野	設 問	「はい」の割合	
【上位】	1	E 健康・福祉	あなたは、自分の健康管理に日頃から気を付けていますか。	88.7%
	2	A 教育・文化	あなたは、自己的人権が保障されていると感じますか。	81.0%
	3	D 安全・安心	消防・救急体制が充実し、命と暮らしを守るための市民の意識づくりが進んでいると感じますか。	76.6%
【下位】	24	B 産業・雇用	多くの人が市内で買い物をし、地域経済が活性化していると感じますか。	30.3%
	25	B 産業・雇用	地元の産業（商業、工業、農業、水産業、サービス業など）に活気があると感じますか。	31.7%
	26	B 産業・雇用	大竹に魅力を感じ、市外から多くの人が訪れていると感じますか。	13.1%

【分野別評価第1位】 D 安全・安心

4項目中すべての項目で、「はい」と答えた人の割合が50%を超えています。「⑬-2 あなたの家庭では災害を意識した準備をしていますか。」の設問に「はい」と答えた人の割合が他の設問よりも低くなっており、今後は、市民レベルでの防災意識をより一層高めるための取り組みが重要と考えます。



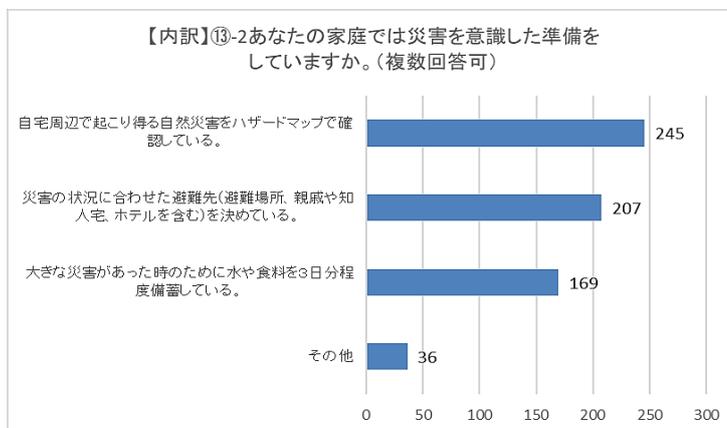
【設問ごとの主な取り組み】

- ⑬ 崩壊の恐れのある宅地背面の安全対策、河川や水路に堆積した土砂の浚渫（しゅんせつ＝取り除くこと）
- ⑭ 警察や防犯連合会など各種団体と連携、巡回パトロールなど地域の見守り体制の強化
- ⑮ 心肺蘇生法の講習会を開催、救急の日(9月9日)に広報活動を実施

【内訳】設問⑬-2

家庭での災害を意識した準備で最も多かったものが「ハザードマップの確認」で、最も少なかったものは「災害があった場合の食料等の備蓄」でした。

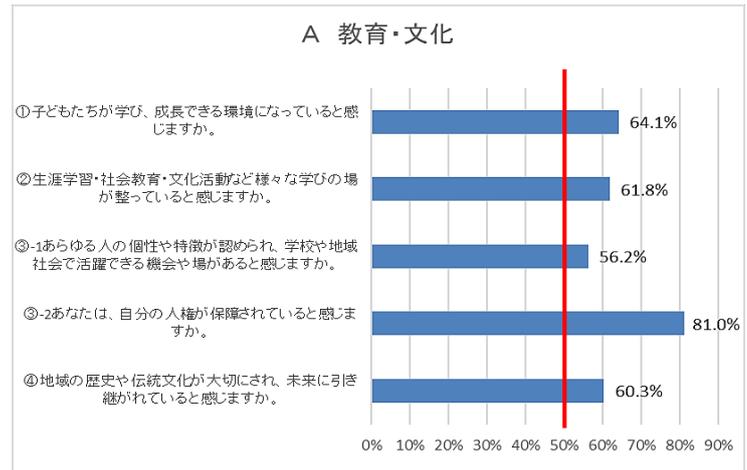
「その他」の回答の内訳としては、「スマホが使えない時の連絡リスト作成」「防災グッズ、簡易トイレ、土のう、蓄電池の準備」「断水時対策（お風呂に水を張る）」「地震対策（家具の固定）」「河川情報、河川監視カメラの活用」「寝室に靴を置いている」などがありました。



【分野別評価第2位】 A 教育・文化

5項目中すべての項目で、「はい」と答えた人の割合が50%を超えています。特に「③-2 あなたは自分の人権が保障されていると感じますか。」は、81%と全体で第2位の高い評価でした。

全体では「③-1 あらゆる人の個性や特徴が認められ、学校や地域社会で活躍できる機会や場があると感じますか。」が最も低い評価となっており、今後は、市民一人ひとりの多様性を尊重し、それぞれの立場や実情に応じた活動・活躍の機会や場を充実させていくことが重要と考えます。



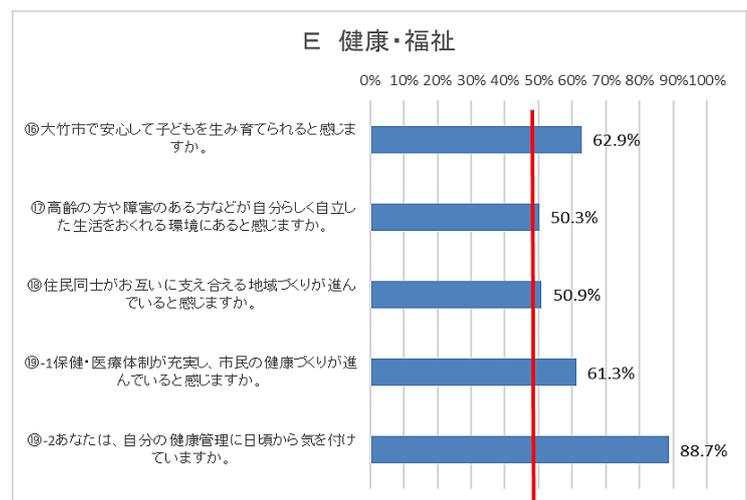
【設問ごとの主な取り組み】

- ① 小・中学校の連携強化、ICT（タブレット学習）の活用
- ② ライフステージに応じた講座・講演会などの開催
- ③ 人権啓発や男女共同参画、多文化共生の推進
- ④ 学校での郷土の歴史を学ぶ機会の提供、手すき和紙などの伝統文化の保存・継承

【分野別評価第3位】 E 健康・福祉

5項目中すべての項目で、「はい」と答えた人の割合が50%を超えています。特に「⑩-2 あなたは、自分の健康管理に日頃から気を付けていますか。」は、88.7%と全体で最も高く、市民の健康意識の高さが伺えます。

「⑩-1 住民同士がお互いに支え合える地域づくりが進んでいると感じますか。」や「⑩-2 高齢の方や障害のある方などが自分らしく自立した生活をおくれる環境にあると感じますか。」が、他の設問より低くなっており、今後は、誰もが住み慣れた地域で自立した生活を送るための地域福祉の充実が重要と考えます。



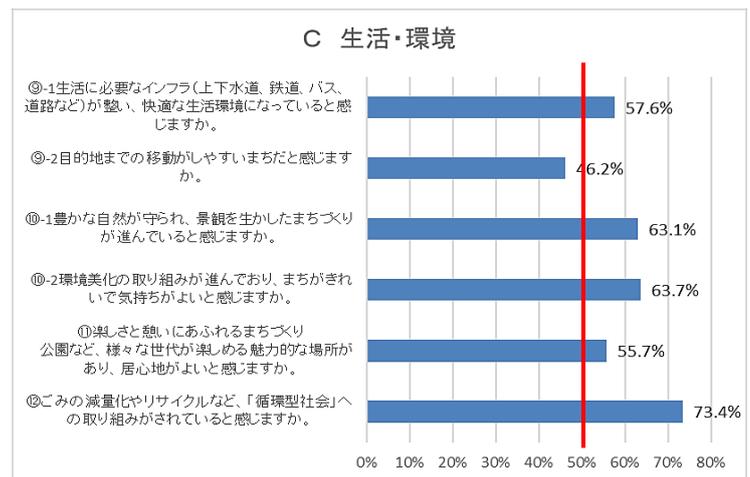
【設問ごとの主な取り組み】

- ⑩-1 子育て家庭へのワンストップ支援体制の構築（市役所、保育施設、子育て支援センターを同一敷地内に集約）
- ⑩-2 生きがいに満ちた高齢者の暮らし支援、障害のある人が自分らしく生きるための支援
- ⑩-3 警察との連携による「はいかい高齢者SOSネットワーク」や事前登録による「見守りタグ事業
- ⑩-4 無料または低額で受けられる各種健診（一般健診、がん検診、歯科健診など）の実施

【分野別評価第4位】 C 生活・環境

6項目中5項目で、「はい」と答えた人の割合が50%を超えています。特に「⑫ごみの減量化やリサイクルなど、「循環型社会」への取り組みがされていると感じますか。」は、73.4%と全体で最も高く、環境にやさしいまちづくりへの意識が高まっていることが伺えます。

「⑨-2 目的地までの移動がしやすいまちだと感じますか。」に「はい」と答えた人の割合が50%を切っており、地域における公共交通のあり方などが今後の検討課題と言えます。

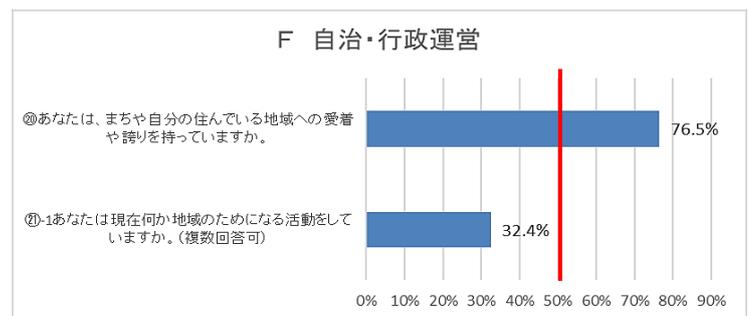


【設問ごとの主な取り組み】

- ⑨ 持続可能な良好で賑わいのある都市づくりを目指したマスタープランの策定
- ⑩ 自治会などの清掃活動の支援、沿道への市民花壇を設置する活動への支援
- ⑪ 遊具点検など、公園の適切な維持管理、地域の清掃活動などへの支援
- ⑫ 川の生き物観察会や小瀬川干潟観察会、小学校への出前講座などの開催

【分野別評価第5位】 F 自治・行政運営

「⑳あなたは、まちや自分の住んでいる地域への愛着や誇りを持っていますか。」は8割近い人が「はい」と答えた一方、「㉑-1 あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか。」に「はい」と答えた人は3割程度に留まっています。まちづくりの原動力となる市民一人ひとりの地域やまちへの愛着心を、地域づくり活動などの活発化につなげることが今後の課題と言えます。



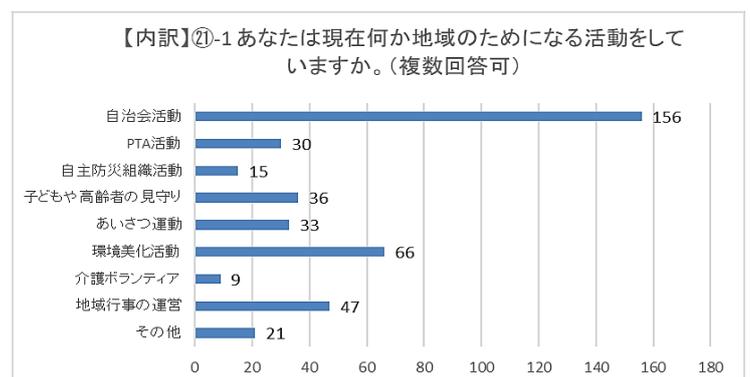
【設問ごとの主な取り組み】

- ㉑ 学校などでまちづくりに関する授業を実施、ホームページやフェイスブックなどによる情報発信
- ㉑ 自治会の活動費助成、地区集会所の新築・修繕、コイ・こいフェスティバル開催費用補助

【内訳】設問㉑-1

最も多かったものが「自治会活動」で、「はい」と答えた人の8割以上が参加しています。

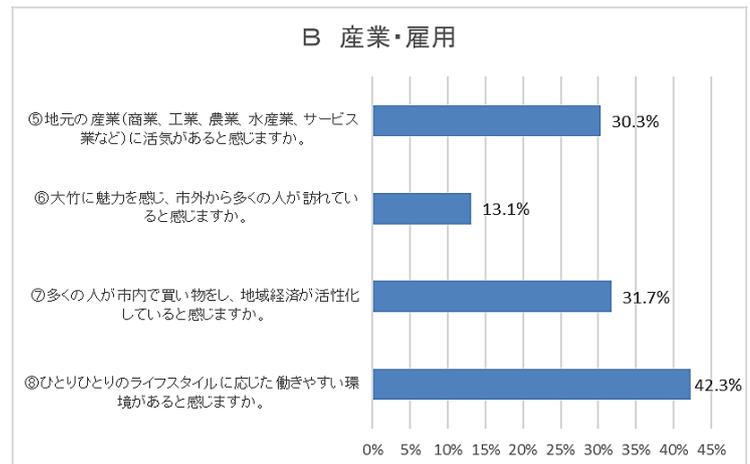
「その他」の回答の内訳としては、「山林関係に関する活動」「ボランティア(絵本の読み聞かせ、音楽、ボーイスカウト)」「スポーツ協会」「手話活動」「献血」などがありました。



【分野別評価第6位】 B 産業・雇用

4項目中すべての項目で、「はい」と答えた人の割合が50%を切っています。特に「⑥大竹に魅力を感じ、市外から多くの人を訪れていると感じますか。」に「はい」と答えた人は2割にも満たない結果となっています。

新型コロナウイルスによる行動制限の影響も見られますが、市外の人にも市の魅力が伝わるよう情報発信の強化や、新たなまちの魅力の創出などが今後の課題と言えます。



【設問ごとの主な取り組み】

- ⑤中小企業支援（商品開発、販路拡大、経営相談や融資など）
- ⑥観光資源や観光ルートの開発促進、商業施設などでの大竹生まれの商品のPR
- ⑦産業振興奨励金の交付、商工業におけるデジタル化（キャッシュレスなど）の推進
- ⑧関係機関と連携した勤労者の支援、働き方改革などの啓発

(3) 分野別の自由意見

【特に力を入れてほしい分野】と回答した理由などを一部抽出して紹介します。

「A 教育・文化」分野

- ・ 小・中の校区の通学路の安全、子どもの体力不安が増している。教員に精神・肉体的に負担が多すぎる。
- ・ 小方学園を高台に移転して低学年生徒の通学は大変で、安全、勉学の負担になります。学区内の市民行事も参加しにくいです。今後建て替える時には、元の中学校跡に建替えることを市民の大半が待っています。
- ・ 小中高、特に大竹高校の設備などの充実をもっとすれば子どもがいる家庭が増え、地域の活性化につながると思う。
- ・ 小学校のプール工事で完成図を見ると屋根がなかったのが、小方プールみたいに屋根が欲しい。
- ・ 市のせいではないが管理教育を今までにすすめてる日本は時代遅れ。
- ・ 大竹は特別支援学校等発達支援を行っているが、未就学児から小学部の発達支援は民間に任せる形で支援内容は充実していない状況です。支援学校を利用する児童は少子化の中で増加していて、需要は今後増えていくと思う。
- ・ 教員の負担軽減を前提とした効率化等の施策があれば、結果として児童に対するプラスになるのではと思う。
- ・ 今後日本を背負っていく子ども達に最高の教育を受けさせたい。
- ・ 小学校コロナでクラスターが発生しているのに公表しないから教育的にも人権的に最悪です。
- ・ 将来の子どもたちのために教育・雇用等に力を入れてほしい。
- ・ 未来への投資は人材育成だと思います。長い目で見たまちづくりをお願いします。
- ・ 未来を考えると次の世代、人への投資であり、子どもへの投資だと考える。
- ・ 老人福祉は十分出来ていると思う。子ども達は医療費、教育費、給食費の無償化推進願う。
- ・ 子どもの教育、医療無償化。
- ・ 美術館建設が進んでいますが、完成が楽しみです。
- ・ 産業につながる方向を検討する。山と海を活かす教育。
- ・ 観光地のパワーが足りない。伝統的風習や行事の減少のため。郷土愛着が心配。歴史の博文館で学べる場所が必要。大竹祭のマンネリ化もあります。亀居城の再建を期待する。
- ・ 大竹市の歴史民俗資料館が出来ればよいと思う。
- ・ 大竹各所の歴史を教えてほしい。
- ・ 広島県内で唯一の手すき和紙があるのに、和紙の加工品を知っている人が少なく残念。こいのぼりだけじゃなく、生活に使えるような加工品があればいい。
- ・ 他県から広島県に移り住んで一番感じたことは、県議、市長、市議の競争がなく活気がない。文化人が少ない。市町村の文化への関心が少ない。
- ・ 生涯学習の環境を整える。情報化を上手に使うと行政からのメッセージや言葉を伝わりやすい。市民の声や評価、要望も受け止めやすい。医療面では診療分野も気になる。
- ・ まちづくりの基本は教育にある。学校や地域でのふれあいが住んでいるまちへの感謝となり、まちの発展へとつながる。大竹は生涯学習の取組が進んでいると感じる。
- ・ 子ども達が学び、遊び、社会に参加できる場を作ってもらいたい。コミュニティが拡大する事業を立ち上げてほしい。
- ・ 人づくりが地域づくり。少子化を放置しておいては、大竹市は無くなります。子育ての町としてIターンUターン移住を増やして市政を今以上に進めないと大竹市は消えてしまいます。
- ・ 子どもの教育、地域の文化の大切さ。思いやりと人々のつながりが大切さ。
- ・ 子どもの教育、子育てを充実。
- ・ 他市町村から大竹市は子育てに良い環境だから、移り住みたいと思われるように教育環境に力をいれてほしい。
- ・ 歌って踊って楽しい町にしてください。
- ・ スイミングスクールは廿日市か岩国かで大竹の住人は悩む。にじいろこども園にもプールがあれば良い。
- ・ コロナ過では難しいかもしれないが子どもたちの心が豊かになる場所やイベントがあったらいいと思う。

「B 産業・雇用」分野

- ・ 商工活動に活気が見られない。

- ・ 地域産業といえば工業という印象がありますが、人が多く働いているというより、仕事だけで他の地域に住んでいるようなので、大竹に住んで、仕事や子育てできるまちづくりをしてほしいです。
- ・ 小売店、スーパー、農協、なかはま保育所等が徐々になくなってきて不便な環境になっています。地元の企業を助けず外部から誘致。大竹駅前も寂しい。
- ・ 魅力のある産業がない、もしくはアピール不足。大竹市で働きたいと思える若い人間がどれほどいるのか疑問。実力のある人間は市外や県外へ出て行っている気がする。子どものうちからもっと大竹市の魅力を伝えていくべき。また魅力だけでなく、今大竹市が抱えている問題や課題を教えていき、「自分が変えたい」と思えるような子どもを増やすべき。
- ・ 大竹市の人口に対して大企業等があり、もっと人口が増える方向に努力してほしい。
- ・ 農業関係の先行きが見えない。
- ・ 農業に従事している人たちの高齢化であるが、農協経営に魅力や喜びを感じない若者たちが少ないこと。これは国を始め地方行政が農業振興にほぼ無策だったことに尽きる。魅力ある農業経営に参加する若者たちを増やすには、国、地方行政が迅速且つ積極的な対策を。オランダを見習え。
- ・ クリーンな産業、大学の誘致が望ましい。
- ・ 大企業に依存している。いろいろな業種の企業を誘致してほしい。
- ・ 企業文化を取り戻してほしい。
- ・ ショッピングや飲食店が少ないと感じる。
- ・ シャッターが閉まっているお店が多い。
- ・ 外食する場所がもっとたくさん増えるのにぎわいそうでいいと思う。
- ・ ファミリーレストランを作してほしい。
- ・ 晴海にIKEAやコストコを建ててほしい。高速道路も近く、人が今より集まると思う。需要も高いと思う。
- ・ 買い物は廿日市や岩国に行くことが多いので、大竹でもショッピングモールみたいなのがあればいい。
- ・ 若者・外国人が注目し、集まる魅力的な施設や店舗が必要。
- ・ スーパーや大型施設があるともっと多くの人が大竹に来てくれると思います。自然が多く山や海があるので両方楽しめるまちになると思います。
- ・ お店も増えているがやっぱりほしいものがなくて、市外に行くことも多いので交通やサービスなど充実してほしい。
- ・ 市内の活気が必要。市内の商業施設を充実させ、あらゆる世代が大竹で楽しく暮らせる必要がある。10年前に引っ越してきた時より退化している。若者に魅力のある町づくりをお願いしたい。ゆめタウン大竹に頑張してほしい。
- ・ お店がないのが一番。皆一か所に集めてしまって、本町・元町は今は死んでいると思います。
- ・ 地域に商店等がなく、高齢者の買い物が困難。
- ・ スペイン通りなど商店街の活性化。空き店舗への誘致。
- ・ 温泉施設が市内にほしい。
- ・ 飲食店が少ない。気軽にに入れて夜遅くまで営業するカフェを作してほしい。
- ・ 店がない。
- ・ 産業活性化⇒税収が増える⇒税収増⇒雇用が増える⇒人口が増える⇒地域へ落とす金が増える⇒大竹市が栄える。
- ・ 産業が発達してこそ税収が見込めるとは思いますが、世の中非課税世帯にお金を配りすぎ。ほんとに困っている人にあげるのはいいですが、必要のない人が生活保護をもらっていたり、飲食店だけお金をあげたり…。生活保護の審査をもっと厳しくするべきだと思います。税金を払っても無駄に使われているようで腹立たしい。
- ・ 地元で働く人が増えることを願う。
- ・ 雇用をたくさんできるようなまちづくりを願いたい。
- ・ 職場、会社を誘致してもっともっと雇用をふやす。議員の数を減らしてほしい。
- ・ 人員不足の企業が多い、後継者不在。お金を使う、投資を積極的に。給料を上げる、雇用を守る。
- ・ 若手農業家の育成など。生活に困るようなことはないがもう少し娯楽がほしい。
- ・ 雇用に力を入れてほしい。雇用があれば定住につながる。
- ・ 地元で働ける場所を増やしてほしい。
- ・ 年々人口が減少、働く場所がなく、もう少し雇用に力を入れてほしい。
- ・ 雇用創出による活気あるまちづくりで若者の定住を。
- ・ 活気のあるまちづくりには雇用が必要です。

- ・ 地元の産業は地元の人を雇用する。
- ・ 若者が働く場がないため、大竹市に住んでいるのは老人ばかり。
- ・ 若い人が魅力を感じる職場が少ない。
- ・ 若い人が働ける場所。
- ・ 高齢化率を下げるために市内在住の労働人口を増やすべき。
- ・ 子育て中の母親が働きやすい環境づくり。
- ・ 非正規社員をなくし、若者が結婚できる環境を作ってほしい。
- ・ 最低賃金を上げてほしい。
- ・ 一人一人のライフスタイルにあった働きやすい場ができると良い。
- ・ 地元企業に働いている人が大竹に住みたいと思うまちづくりをしてほしい。
- ・ 大学進学で大竹市を出て、大竹市には就職先がないからと大学近郊で就職・結婚すると帰ってこなくなる。対策が思い浮かびませんが、何とかならないものかと。
- ・ 地域で働ける場所があり、地域で消費が拡大することが大切と考える。
- ・ 産業・雇用の分野を選んだ理由は、他の項目と比較して劣っていると感じるため。対策として大竹市で有名である和紙、地域の歴史や文化を取り入れたイベント活動で地域住民の方も活性化する。
- ・ 広い土地があるなら美術館でなく、もっと市外から人々が来るような施設を検討してほしい。
- ・ たくさんの人に大竹に足を運んでほしい。
- ・ 「多くの人を訪れるまち」のイメージは、すべての分野が充実しているからだと考えられる。
- ・ 大竹祭をもっと盛大にアピールすれば他県からも見学者が増やせる。広島県でもNo.1の祭りだと思う。
- ・ 道の駅的な場所があると知人への大竹市のアピールになる。地元をもっと自慢したい。
全国に大竹市をPRすること。特産物を知ってもらうように。大竹市に来て3年ですが、特産物を知りません。
- ・ まちの活性化が一番大事。
- ・ 活気がない。
- ・ 25年ぶりに生まれ育った大竹市に戻ってきましたが以前と比べ活気が減った感じがする。
- ・ 住みよいまちをつくってほしい。人口が減少し続けている。魅力を感じられないということ。

「C 生活・環境」分野

- ・ 新しくなる大竹駅周辺が活気あるにぎわう場所になればいい。
- ・ 駅前のロータリーが広く出来たらいいと思う。
- ・ 駅も新しくなり若い人やたくさんの人が大竹の駅に降りてくれる魅力あるまちづくりをしてください。
- ・ 小方に駅が出来てほしい。
- ・ 広島市に近い自然が豊かな市なので、道の駅やJA産直市などでもっと盛り上がると良い。
- ・ 地域交流館のような、地域の物を売ったり、買ったりできる場をもっともっと作ってほしい。「マロンの里」は遠すぎるので、大竹市内でももっと近くに作ってほしい。
- ・ 岩国大竹道路の工事がすすんでないので小方まちづくりを急いでほしい。生活環境の充実が市民にとって何よりも望むところである。
- ・ 全体的に状況は悪いと思うが、予算、マンパワーも足りていないので期待していない。高齢化が進み、買い物も通院も不自由を感じているし、道路はアスファルトが劣化しているがガタガタで歩きにくい。
- ・ 玖波地区の国道2号線で右折レーンがない。不安を感じています。
- ・ 道路の整備。
- ・ 道路が狭い、自転車に乗っている時なんか疲れを感じる。
- ・ 凸凹の少なく、歩きやすい道路を作るべき。
- ・ 私道などの補修に対して補助金制度の条件緩和。上下水道の改善。
- ・ 晴海周辺に室内プールや健康増進のための施設を整備してほしい。こいこいバスにルートを1日5から8便でいいので、柴町・油見・白石・本町・元町地区に運行してもらいたい。廿日市市大野ハートバスを参考に。
- ・ 玖波8丁目の住人ですが団地の高齢化が進み、買い物、病院等に通うため「こいこいバス」の運行を検討してほしい。
- ・ ゆめタウン大竹への大竹駅の直通のバスがない。岩国行きのバスがない。

- ・ バスが近くになく不便。草木が伸び放題な状況が長期化。
- ・ 交通のインフラが不便。
- ・ バスの路線を増やしてほしい。
- ・ バス便が増えると嬉しい。直通で大竹駅まで行けるバスがあればいいと思う。
- ・ 車に乗れなくなったときバスを利用するのですが、本数が少ないので不便です。
- ・ 車がないと病院や買い物に行きづらく、交通の便を良くしてほしい。免許返納というがなかなかできません。
- ・ 地域によりますが、交通不便を感じる。実際に市内を移動している高齢者の車、バイク、自転車に不安を覚えます。
- ・ 山間部地域にも十分配慮された交通分野に力を注いでください。
- ・ 交通の便が悪いので車の運転が出来なくなったら店もなく不便です。
- ・ 高齢者に交通手当、支給等（免許返納後、タクシーチケットを配るなど配所が必要では）。
- ・ 団地なので免許返納すると困る事が多いです。
- ・ 市役所に行く手段は車しかない。支所ですべてできるようにしてほしい。マイナンバーカードの受け取り等。先日こいこいバスの乗ったら乗客がわたしだけでした。
- ・ 団地が多く、玖波地区、御園、三ツ石と交通が不便でバス停のある場所が良くない。坂のある団地では乗車するまでが大変で団地中にも一か所でもいいのでバス停をおいてほしい。
- ・ 利用しやすいバスが必要。大竹駅で待機しているタクシードライバーはマスクを着けていない人が目立ち、利用したいのにできないときが多々ある。とてもストレス。難しいかもしれないが、レンタサイクルが設置されるとうれしい。
- ・ 年金生活で免許の返納と不安ばかりです。市内巡回バスの充実を願い容易に利用できる環境を作ってもらいたい。
- ・ 免許返納後も自宅で生活していけるように外出可能な状態に整備してほしい。7・8丁目に小型バス運行してほしい。
- ・ 変化がないことを安心感ととらえている高齢者が多いことに甘えてはいないか。中心が小方地区に移行しているのに交通手段がマイカーしかない（こいこいバスは時間が合わない。通勤の役に立たない。）。何度も事故になりそうな高齢者の運転シーンをみる。免許返納しようと思ってもできない。また旧市内の活気のなさに昔を知っている者はつらい。市はできることから本気で取り組んでほしい。
- ・ 鉄道の本数を増やしてほしい。
- ・ 日常の食糧その他生活用品を買う店が一つもない。
- ・ 買い物する店が近くにないことに不便を感じる。
- ・ 住宅が増えているのにスーパーがゆめタウンしかないのでゆめタウンから離れた場所に住んでいる人は不便です。
- ・ スーパーの宅配サービスの充実。
大型スーパーまで車でないと行くことが不可能。
- ・ 緑の中で散歩や子ども達が遊べる公園の整備。
- ・ 玖波4丁目には公園もなく皆が集う場所もない。現在の集会所は場所が悪く、危険が多い。子供は遊ぶ場所もなく、家から出ない。なかはま保育所を利用させてください。
- ・ 世代が楽しめる魅力的な場所。高齢者も楽しめる憩いの場は思いつかない。公園遊具や景観も満喫できる場所。
- ・ 公園が少ない。
- ・ ゴミ出しの生ごみをカラスが荒らしています。ゴミ箱の設置を市で設置してほしい。総合体育館の老朽化が激しくアゼリアおおたけ同様に改修してほしい。皮膚科、耳鼻科が少ない。歯科医が多い。
- ・ 高齢化が進み地域の当番制への参加が強制される。空家・空地が多く死角となり、安全に安心して暮らせない。市役所に相談しても担当をたらい回しにされ解決しない。夜間のバイクの騒音にも対処しない。何人も歩道が整備されず、安心して歩けない。草木が茂り、見通しが悪いところが多い。
- ・ まちに活気がない。大野から大竹に入るとまちが暗くなったように感じる。青木線の街路樹はよく手入れされている
- ・ 自治会活動等高齢者が多く、出る足もなく困っている人が多数いる。大竹市内草木等が生えて美化になっていません。
- ・ 今は環境に注目している。環境に優しいまちにしてほしい。
- ・ タバコのポイ捨て、ゴミの出し方、ベットの散歩中のフンの始末に気を付けてほしい。
- ・ ごみの収集場の整備をしてほしい。
- ・ 朝に感じる空気の工業臭を緩和してほしい。
- ・ 保護猫活動、殺傷処分0運動を大竹市が始める。苦情も少なくなり、町もきれいになる。

- ・ 山の整備。
- ・ 旧市営住宅の空き家は早く壊してほしい。夜など恐怖心で通れません。
- ・ 空き家の撤去、有効活用。
- ・ 黒川墓地の水道が止められている。遠くに人が故郷の帰り墓参りをする際、水がなく不自由していいいます。晴海公園
- ・ 1 上下水道の設置 2 美術館、博物館、記念館（例：石本美由起） 3 大きな公園等、憩う場所 その他国土調査（大竹市）できるものならば（困っている）
- ・ 住宅の水道管を私個人で設置し、管理しています。以前「水道局へ引き取って管理してほしい」とお願いしましたが、相手にしてもらえず不満を持っています。消火栓設置もなく、不安に思います。
- ・ 一人で生活をする場合ゴミ捨てなど。
- ・ 生活、環境に魅力があれば、人の移住先として選ばれるまちになる。
- ・ 晴海公園の多目的グラウンド周辺をきれいにしてほしい。駐車場でスケートボードの夜集まって練習している若者がいます。スケートボードができる施設を作ってほしい。
- ・ 上下水道。バス。

「D 安全・安心」分野

- ・ 温暖化で災害が多く、アナウンスも聞き取りにくいし、防災用のラジオがあればいいと思う。
- ・ 災害時、身体具合が悪い者に対して、近くに避難するところがない。
- ・ 水害のためのポンプ設置を早くお願いしたい。
- ・ 災害が発生した時、避難場所が住んでいる近くでない。
- ・ 災害時に土砂崩れ、浸水などの対策をよろしくお願いします。
- ・ 大雨の時浸水を防ぐため、排水ポンプの排水量強化に力を入れてほしい。
- ・ ホームページで（災害に関する）最新情報など見やすくしてほしい。
- ・ 山々が近く落ち葉が側溝にたまり、大雨が続くと溢れて、危険を感じます。自分で落ち葉や小枝など取り除くのですが、限界があります。市の方で除去していただきたい。
- ・ 水害、水門の設置。
- ・ 南栄2-4-11の水路ですが、雨が強く降ると水が溜まって流れない。以前水の工事をされた方が水路が詰まっていると忠告を受けました。災害時に心配です。一度見に来てほしい。
- ・ 街灯が少ない。側溝の蓋が無いところが多い。
- ・ 防犯カメラ増。
- ・ 子どもが被害に遭う事件が全国で多発している。学校の下校時にパトロールをお願いします。
- ・ 路地が多く狭い通路を使用する人が多く危ない。ミラーの利用を多くしてほしい。ガードレールをしてほしい。
- ・ 交通事故や自然災害に私たちの子どもの頃よりどこで自分が巻き込まれるか、大変な世の中になっています。一人一人の意識作りが必要になると思います。
- ・ 大竹小学校前で車がスピード違反が多い。
- ・ 自転車のマナーが非常に悪い。交通安全の教育を小学生から充実させるべき。
- ・ 5/9の早朝に爆発音がしたが、特に放送などがなかったのですぐに知らせてほしい。家の前に路上駐車をしている人が多く、危険なので警察の方にパトロールしてほしい。
- ・ 化学工業を多く持つまちで災害等に対して常に安全指導を実践するよう、その工場への要請を。
- ・ 防災無線の放送内容に変化がなく市民が聞いても情報をもとに次の行動が起こせない。コロナに関しても長い間同じ内容を無理に放送しなくてもよい。
- ・ 安全・安心な町であれば自然に人が集まる。
- ・ 安心ができる。のんびり過ごせる日々がいいです。
- ・ 心のゆとり対策。
- ・ 全ての分野で共通すること。

「E 健康・福祉」分野

- ・ 高齢者が増える中、老後は平穏に暮らせる社会が望ましい。
- ・ 高齢者も安心して暮らせるまちづくり。

- ・ 後期高齢者は医療費が1割から2割になります。年金生活者としては苦しくなります。
- ・ 高齢者向け施設の充実。
- ・ 高齢者としてはこれから先に不安を感じる。具体的に心穏やかに過ごせる施設が大竹市には確保できているのか？
- ・ 高齢者の住みやすい町づくり。
- ・ 最近は何をとり、何をすることも時間がかかる。
- ・ 高齢のため。
- ・ 高齢者にやさしい町づくり。
- ・ 高齢者なので自分のことは自分でできること。
- ・ 介護施設等。
- ・ 老人ホーム等に安価で入所できるような仕組み。
- ・ 老人ホームを増やして誰でも入れるようにしてほしい。
- ・ 料金の安い老人ホームをたくさん作ってほしい。国民年金では現在に老人ホームには入れません。
- ・ 低所得者でも入れる福祉介護施設の分野を充実させてほしい。
- ・ 高齢者にとって健康は維持。
- ・ 高齢者福祉を充実してほしい。
- ・ 地域の老人が多い。
- ・ 高齢になっても少しでも役に立ちたい。
- ・ 高齢者の介護施設の充実をはかってほしい。
- ・ 高齢者施設に誰でも入れるようにしてほしい。
- ・ お年寄りが生活しやすい環境を作る。
- ・ 高齢でも生きてゆくために。
- ・ 高齢者の憩いの場が少ない。
- ・ 老後の安定した生活できるような施設を増やしてほしい。
- ・ 年齢を重ねると出来なくなることが多くなる。
- ・ 年齢が70才近くになると当然この分野になる。
- ・ 市の福祉や社協の相談員など頼りにならない。相談できるカウンセラーや必要な情報提供などに力をいれてほしい。
- ・ 以前父が室内で倒れたとき、人命救助してくれた民生委員の活動に感謝しています。今でもお世話になり、近所の方にもお世話になっております。
- ・ 介護保険料を安くしてほしい。
- ・ 子どもや老人が安心して暮らせるようにしてほしい。
- ・ 子どもから老人まで全ての人が生活しやすい大竹市がいいです。
- ・ 子どもを産み育てる環境を充実させてほしい。
- ・ 子育て世代にもっと無料で市が出来る事を充実させると人口が増えると思う。
- ・ 保育所の数が減っているように感じる。
- ・ 子どもを育てやすい環境にしてほしい。黒川周辺の歩道がない。
- ・ 子育て世代は大竹市に魅力を感じないので住みたくなくなるような政策を考えてほしい。
- ・ 若い夫妻の造を図る施策の充実。住宅、子育てのしやすい環境・施設など手厚く優遇、とくに教育費用。
- ・ 若い人が積極的に大竹で暮らしたいと思う取組をしてほしい。近隣の市や町と比較して子育て世代の保障をもっと充実してほしい。
- ・ もっと子ども達に援助金を出すべき。健康管理を意識させること。
- ・ 一人暮らし緊急時の連絡先を確立してほしい。
- ・ 健康寿命が長くなるような活動ができる環境、システムを整備してほしい。
- ・ 健康をサポートしてくれる施設等の充実。
- ・ 70代なので、健康興味が有り、公園などに運動できる遊具がほしい。
- ・ 自分たちは健康で幸せな生活が送っていますが、若い世代やこれから生まれてくる子のために計画を立てて町づくりをしてほしい。
- ・ アゼリアホールで市の健診が受けられることは助かります。
- ・ 健康が一番大切。

- ・ 自分の健康。
- ・ 自分が健康で少しでも人のためになった。
- ・ 今は健康です。
- ・ 健康のためウォーキングをしている。
- ・ 食品添加物や農薬を使用した野菜が健康を害するような気がする。
- ・ 大竹は工場が多いので空気中の化学物質が多い。空気が悪いと健康にも影響を与える。食品添加物や農薬を使わない食物を生産販売することで今より住民の身体が健康になると思う。医療も西洋医学に偏らす。体に負担のない東洋医学や総合医療が大竹で受けられるようにしてほしい。
- ・ 医療費削減。
- ・ 医療施設が少ないので充実させてほしい。
- ・ 医療費が高いので簡単に病院に行く事が出来ない。
- ・ 医療費の無償化、給食費の無償化、英語や海外の人と触れ合う機会を与えてほしい。
- ・ 夜間や休日の救急医療に対して不安がある。
- ・ 住み続けるのは親介護経験からすると、病院や施設がせい弱なため不安。お店の減少、魅力のない町。
- ・ 病院が専門科が少ない。増やしてほしい。
- ・ 訪問看護のように在宅での医療。
- ・ 里帰り出産も出来ない市なんで、ましてや小児科（24時間）もない市などこれから高齢化に歯止めがかからない。
- ・ 産婦人科がなく不便である。
- ・ 市内に産婦人科を作ってほしい。
- ・ 大竹市には産婦人科はがない。
- ・ 大竹市に産科がないことが不満。
- ・ 大竹市内で出産できる環境。
- ・ 産婦人科、耳鼻科、皮膚科を増やしてほしい。親族が亡くなった時の手続きはいろいろな課を回らないといけません。岩国市役所は一か所で待っていたら、手続きする課の人が来てくれる。大竹市役所もそうしてほしい。
- ・ 産婦人科がないこと。
- ・ PCR検査キットを確保してほしい。発熱している場合は初診でも診てほしい。
- ・ 大竹市に保健所がほしい。無料PCRキットが廿日市にしかないのが困る。
- ・ もっと人員を増やすべきだし、専門知識をもっと人を育てていかないと駄目だと思う。

「F 自治・行政運営」分野

- ・ 自治会の組織が充実され、活動すれば自然と住民は生き甲斐を感じる。
- ・ 高齢一人世帯の増加、自治会加入世帯の減少、空き家対策と周辺環境の悪化。
- ・ 自治会の運営が昭和初期から変わってなく今の高齢化にあってない。
- ・ 若い人の参加が少ない。仕事があるのは分かるけど自治会活動に参加してほしい。
- ・ 自治内でのつながりが気薄。
- ・ 企業の定年が延長され各分野の役員後継者のなり手が少なく、市内各地区でも自治会運営が破壊しつつある。
- ・ 自治会の行事活動が一部の人で行い、おもしろくない。
- ・ 自治会に参加する人が減り活動出来ない状況です。具体的に何かしないといけないと感じている。
- ・ 自治会会長以下役員ばかり集まり飲食していた。今はコロナの為していないようだが。
- ・ 体操を月2回してもらおう。
- ・ 生涯学習、講演会等の充実。
- ・ 近所は年寄り、独身等が多いため溝に降りて掃除なんかできないのにまったくしてもらえない。
- ・ 地区も行事も少なくなり、気軽のコミュニケーションが取れない。
- ・ 身近なところで結束を強めることで市全体での結束力がつけていけるため。
- ・ 地区の人達の交流がもっと深まるような機会があれば良いと思います。
- ・ 市民が気軽に参加しようと思える行政を考えてほしい。
- ・ 市役所よる声かけと声をかけたことが誰でもわかるようにしてほしい。独居老人や老々介護家庭に目立つ。
- ・ やった感を感じます。本気で住民のことを考えてほしい。

その他

- ・ 安心した生活ができること。
- ・ 安心して楽しく生活すること。
- ・ もっと生活が楽になると良いです。
- ・ 全ての世代の方が暮らしやすいと感じる町は日々小さな幸せに繋がる。
- ・ メールでお知らせ。
- ・ 今の時代が最悪に近い状況で何も出来ない、意欲がわかない。毎日の生活をどのように生きるか？
- ・ 物価高、税金増で給与はあまり増えず生活が豊かにならない。
- ・ 18才未満医療費無料や大竹市利便性をもっとアピールし、人口の増加対策をしてほしい。このままでは、高齢者ばかりのまちになってしまう。
- ・ 市民が住んでいる町が楽しいと言えるアイデアをお願いします。車がなくなったら周りに誰とも話せないようになったのでさみしいです。
- ・ 経済圏が偏っている。
- ・ コロナがはやり生活環境が変わり、人の車の少なく町が死んだようだ。早く以前のように活気が戻ってほしい。
- ・ すべてに力を入れていただきたい。
- ・ みんなが関心を持つように、現場の声を聞かせて、考え協力して作ったらいい。
- ・ ことばが分からないので書くことが難しい。
- ・ 市長は「住みやすいまちの実現に向けて懸命に頑張る」と発言しているが、阿多田の騒音は拡大の一方で対策はゼロです。

2 属性別分析

(1) 性別

分野	分野別取組宣言	問 番号	設 問	R3							
				男性				女性			
				設問		項目		設問		項目	
				「はい」 の割合	順位	「はい」 の割合	順位	「はい」 の割合	順位	「はい」 の割合	順位
A 教育 ・ 文化	広く社会で活躍する人を育むまちづくり	①	子どもたちが学び、成長できる環境になっていると感じますか。	61.7%	8	63.9%	2	67.0%	9	66.5%	2
	学び楽しむ心豊かなまちづくり	②	生涯学習・社会教育・文化活動など様々な学びの場が整っていると感じますか。	59.9%	11			64.0%	14		
	一人ひとりを大切に するまちづくり	③-1	あらゆる人の個性や特徴が認められ、学校や地域社会で活躍できる機会や場があると感じますか。	56.3%	15			57.0%	17		
		③-2	あなたは、自分の人権が保障されていると感じますか。	82.2%	2			80.8%	2		
歴史や文化を大切に するまちづくり	④	地域の歴史や伝統文化が大切にされ、未来に引き継がれていると感じますか。	59.1%	14	64.0%	13					
B 産 業 ・ 雇 用	活気ある産業のまちづくり	⑤	地元の産業（商業、工業、農業、水産業、サービス業など）に活気があると感じますか。	26.5%	25	27.2%	6	34.2%	23	31.1%	6
	多くの人を訪れるまちづくり	⑥	大竹に魅力を感じ、市外から多くの人を訪れていると感じますか。	12.9%	26			12.8%	26		
	地域経済が元気なまちづくり	⑦	多くの人が市内で買い物をし、地域経済が活性化していると感じますか。	30.2%	24			32.5%	24		
	安心して働けるまちづくり	⑧	ひとりひとりのライフスタイルに応じた働きやすい環境があると感じますか。	39.4%	22			45.2%	22		
C 生 活 ・ 環 境	快適で暮らしやすいまちづくり	⑨-1	生活に必要なインフラ（上下水道、鉄道、バス、道路など）が整い、快適な生活環境になっていると感じますか。	59.1%	13	57.4%	4	57.1%	16	62.0%	4
		⑨-2	目的地までの移動がしやすいまちだと感じますか。	46.1%	21			46.1%	21		
	自然と調和するまちづくり	⑩-1	豊かな自然が守られ、景観を生かしたまちづくりが進んでいると感じますか。	60.4%	9			65.0%	11		
		⑩-2	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちよと感じますか。	59.4%	12			68.2%	8		
	楽しさと憩いにあふれるまちづくり	⑪	公園など、様々な世代が楽しめる魅力的な場所があり、居心地がよと感じますか。	51.2%	18			59.0%	15		
	環境にやさしいまちづくり	⑫	ごみの減量化やリサイクルなど、「循環型社会」への取り組みがされていると感じますか。	68.2%	6			76.7%	5		
D 安 全 ・ 安 心	災害に強いまちづくり	⑬-1	防災情報の伝達手段（防災行政無線、防災メール、テレフォンサービス、緊急速報メール、ホームページなど）は充実していると感じますか。	66.0%	7	67.6%	1	69.5%	7	67.7%	1
		⑬-2	あなたの家庭では災害を意識した準備をしていますか。	52.0%	17			51.0%	20		
	事故や犯罪の少ないまちづくり	⑭	地域住民や警察・行政などが協力し、事故や犯罪予防のための取り組みがされていると感じますか。	76.9%	3			72.0%	6		
	命を大切に するまちづくり	⑮	消防・救急体制が充実し、命と暮らしを守るための市民の意識づくりが進んでいると感じますか。	75.0%	5			78.3%	3		
E 健 康 ・ 福 祉	子どもが健やかに育つまちづくり	⑯	大竹市で安心して子どもを生み育てられると感じますか。	60.3%	10	59.1%	3	64.6%	12	65.8%	3
	誰もが自分らしく生きるまちづくり	⑰	高齢の方や障害のある方などが自分らしく自立した生活をおくれる環境にあると感じますか。	47.8%	19			51.8%	19		
	見守り 支え合うまちづくり	⑱	住民同士がお互いに支え合える地域づくりが進んでいると感じますか。	47.3%	20			55.3%	18		
	みんないきいき元 気なまちづくり	⑲-1	保健・医療体制が充実し、市民の健康づくりが進んでいると感じますか。	53.3%	16			66.6%	10		
		⑲-2	あなたは、自分の健康管理に日頃から気を付けていますか。	86.4%	1			89.8%	1		
F 行 政 自 治 運 営 ・ 市 民 と 行 政 の 協 働	地域を愛する人づくり	⑳	あなたは、まちや自分の住んでいる地域への愛着や誇りを持っていますか。	75.2%	4	55.6%	5	78.0%	4	54.3%	5
	市民と行政の協働	㉑-1	あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか。	35.9%	23			30.1%	25		
合計				55.7%				59.1%			

【全体的な傾向】

各分野の各設問で「はい」と答えた人の割合の単純平均値により、全体的な傾向を捉えたものです。「はい」と答えた人の割合は、「男性」55.7%、「女性」59.1%と、「女性」が「男性」より高くなっています。分野別にみても、6分野中5分野で「女性」のほうが「はい」と答えた人の割合が高くなっています。

男女差が5%以上のもの

(単位：%)

分野	設問番号	設問	男性	女性	差
			「はい」の割合	「はい」の割合	
E 健康・福祉	⑱-1	保健・医療体制が充実し、市民の健康づくりが進んでいると感じますか。	53.3	66.6	13.2
C 生活・環境	⑩-2	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちが良いと感じますか。	59.4	68.2	8.8
C 生活・環境	⑫	ごみの減量化やリサイクルなど、「循環型社会」への取り組みがされていると感じますか。	68.2	76.7	8.5
E 健康・福祉	⑱	住民同士がお互いに支え合える地域づくりが進んでいると感じますか。	47.3	55.3	8.0
C 生活・環境	⑪	公園など、様々な世代が楽しめる魅力的な場所があり、居心地が良いと感じますか。	51.2	59.0	7.8
B 産業・雇用	⑤	地元の産業（商業、工業、農業、水産業、サービス業など）に活気があると感じますか。	26.5	34.2	7.7
B 産業・雇用	⑧	ひとりひとりのライフスタイルに応じた働きやすい環境があると感じますか。	39.4	45.2	5.8
F 自治・行政運営	㉑-1	あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか。	35.9	30.1	5.7
A 教育・文化	①	子どもたちが学び、成長できる環境になっていると感じますか。	61.7	67.0	5.3

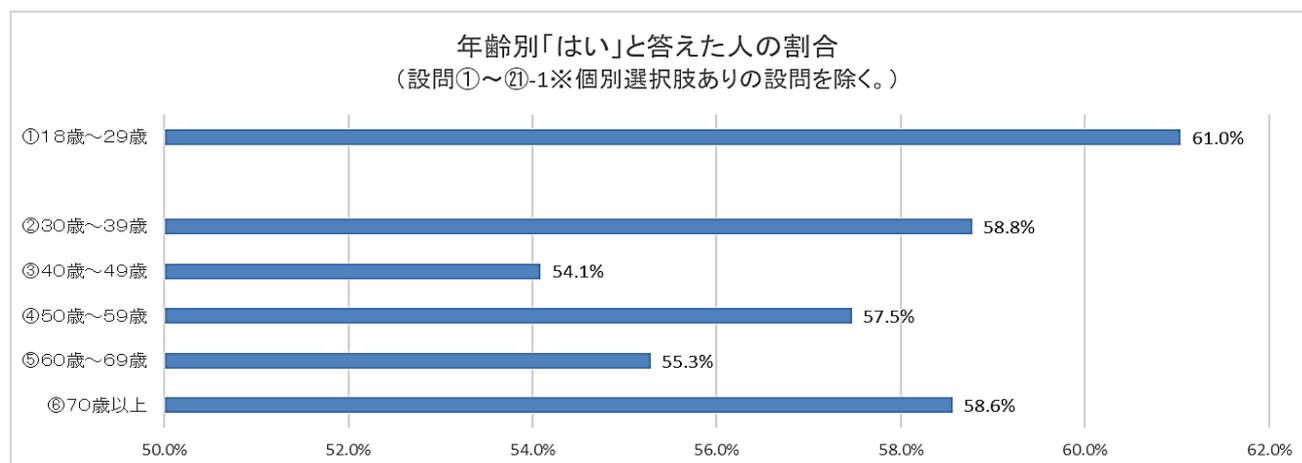
【項目・設問にみられる傾向】

「はい」と答えた人の割合の分野別の順位は「男性」「女性」ともに同じで、最上位の分野と最下位の分野の差は、「男性」が40.4ポイント（67.6－27.2）、「女性」が36.6ポイントと、共に30ポイント以上の差が生じています。

設問ごとの男女差で差が大きかったものは「E 健康・福祉」分野で、「⑱-1 保健・医療体制が充実し、市民の健康づくりが進んでいると感じますか」という設問で13.2ポイントの差でした。「E 健康・福祉」分野自体、「男性」よりも「女性」のほうが「はい」と答えた人の割合が高く、分野間で最も大きい差が生じており、性別による関心度の違いが表れていると言えます。

「F 自治・行政運営」分野の「㉑-1 あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか」のみ、「女性」より「男性」のほうが「はい」と答えた人の割合が高くなっています。地域における「女性」の役割や、活躍できる場や機会など、女性を取り巻く環境にさまざまな課題があると考えられます。

(2) 年齢



【全体的な傾向】

どの年齢層においても、「はい」と答えた人の割合が50%を超えています。

年齢層別の「はい」と答えた人の割合は、「18～29歳」が61.0%で最も高く、次いで「30～39歳」、「70歳以上」の順に高くなっており、「40～49歳」が最も低くなっています。

内閣府が毎年作成している「満足度・生活の質に関する調査報告書」の2022年版によると、ミドル層と呼ばれる40～64歳の年齢層は、若年層（15～39歳）や高齢層（65～89歳）よりも生活満足度が低い傾向にあり、本市の際立った特徴とは言えませんが、少子高齢化が進む中で、この年齢層は働く世代として需要が高まっていることに加え、まちづくりのリーダー的な年齢層とも言えることから、「40～49歳」の年齢層の肯定的な評価を増やすことが、まちの活力の維持・向上につながるとも考えられます。

年齢別「はい」と答えた人の割合

年齢	A 教育・文化		B 産業・雇用		C 生活・環境		D 安全・安心		E 健康・福祉		F 自治・行政運営	
	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位								
①18～29歳	66.3%	3	42.9%	1	64.5%	1	71.9%	1	68.0%	1	33.8%	6
②30～39歳	71.8%	1	33.5%	2	64.2%	2	66.5%	3	59.8%	4	42.9%	5
③40～49歳	58.0%	6	31.4%	3	60.8%	3	64.2%	6	54.7%	6	48.1%	4
④50～59歳	68.0%	2	28.3%	4	60.6%	4	64.3%	5	62.2%	3	55.6%	3
⑤60～69歳	62.9%	5	25.7%	6	58.7%	5	65.4%	4	58.1%	5	58.3%	2
⑥70歳以上	66.0%	4	27.3%	5	58.4%	6	69.8%	2	67.0%	2	61.3%	1

【項目・設問に見られる傾向】

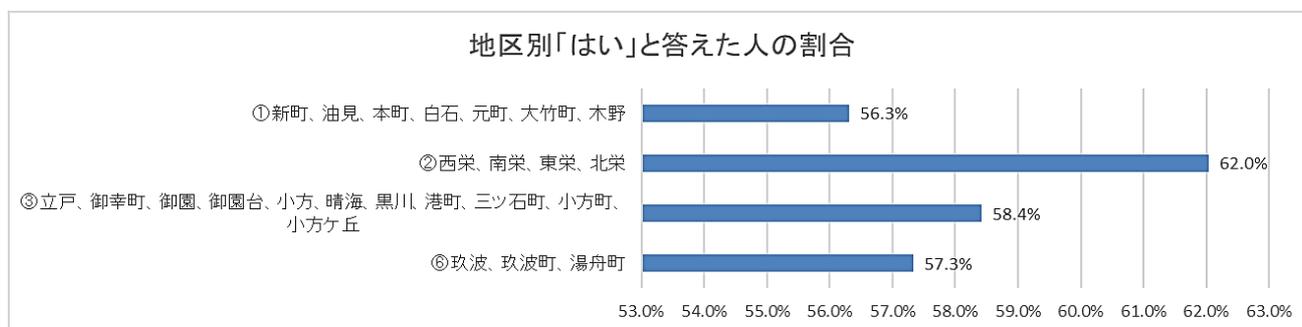
分野別では、「18～29歳」は6分野中4分野で「はい」と答えた人の割合が最上位となっています。

「B 産業・雇用」分野と「C 生活・環境」分野は、「はい」と答えた人の割合が若年層ほど高くなっています。「F 自治・行政運営」分野は、「はい」と答えた人の割合が高齢層ほど高くなっており、最上位の「70歳以上」と最下位の「18～29歳」の差は27.5ポイントも開いています。年齢層が上がるほど、地域やまちへの愛着や、まちづくりへの関心などが高まる傾向があると言えそうです。

(3) 住所

回答数100以上の次の4つの地域で比較しています。

- ①新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野
- ②西栄、南栄、東栄、北栄
- ③立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘
- ④玖波、玖波町、湯舟町



【全体的な傾向】

いずれの地区も、「はい」と答えた人の割合が50%を超えています。

最も割合が高かったのは「②西栄、南栄、東栄、北栄」で、最下位の「①新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野」と比較して、5.7ポイントの差が生じています。

地区別・分野別「はい」の割合

(単位：%)

地区	A 教育・文化		B 産業・雇用		C 生活・環境		D 安全・安心		E 健康・福祉		F 自治・行政運営	
	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位								
①新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野	63.8%	3	24.8%	4	61.4%	2	66.4%	4	61.1%	4	54.4%	2
②西栄、南栄、東栄、北栄	74.8%	1	37.6%	1	63.0%	1	66.8%	3	68.3%	1	50.5%	4
③立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘	66.0%	2	33.9%	2	58.7%	4	68.7%	2	64.3%	2	53.6%	3
④玖波、玖波町、湯舟町	61.6%	4	27.3%	3	60.5%	3	70.4%	1	62.5%	3	61.0%	1

【項目・設問に見られる傾向】

地区別で「はい」と答えた人の割合は、「②西栄、南栄、東栄、北栄」が6分野中4分野で最上位となっています。

地区によって最も差が大きかったのは「A 教育・文化」分野で、最も高い「②西栄、南栄、東栄、北栄」と最も低い「④玖波、玖波町、湯舟町」で13.2ポイントの差が生じています。施設などのハード面に着目すると、大竹地域では大竹会館（アゼリアおおたけ）のリニューアルなどが行われた一方で、玖波地域では、玖波公民館や玖波中学校などの教育施設の老朽化が課題となっており、教育・文化に関する政策を進めるための環境面の改善が重要と考えます。

一方、「F 自治・行政運営」分野では、「④玖波、玖波町、湯舟町」が最も高い順位となっています。玖波地域においては、学校・地域・玖波公民館が連携・協働して、地域への愛着心を育みながらまちづくりに取り組む「学びのカフェ」などの自主事業を積極的に行っていることも要因と考えられ、人口減少下においては、こうした自主的な地域づくりを支える仕組みづくりも重要と考えます。

第3節 自由筆記「最近「幸せだな」と感じたこと」・その他ご意見など

「あなたはどのようなときに幸せを感じますか。最近「幸せだな」と感じたことについて教えてください。」という設問について、自由筆記していただきました。アンケートの全回答数628件のうち、410件の自由筆記回答がありました。

「家族（夫婦・子ども・孫など）」「友人」「地域の人々」などとのつながりやふれあい、自分や家族など大切な人が健康であること、趣味や食事などの好きなことをしている時などのほか、何事もなく平穏に暮らしていることを挙げているものも多く見られました。

「幸せではない」という趣旨の回答では、収入面や新型コロナウイルスの影響のほか、まちに元気がないことに触れたものや、行政への意見・希望なども見られました。

回答の中にもありましたが、幸せの形は一人一人異なるものです。大竹市まちづくり基本構想で掲げる「未来のまちの幸せ」は、そうした多様な幸せが集まった形と考えています。

アンケートを通じて得られたまちづくりへの課題と向き合いながら、一つずつ着実に「笑顔・元気♡かがやくおおたけ」を実現させていくために、さまざまな施策に取り組んでいきます。

最近「幸せだな」と感じたこと

- ・ 家族といる時
- ・ 家族と一緒に楽しく過ごしている時
- ・ 家族で過ごす時間が幸せです
- ・ 家族とのふれあい
- ・ 家族が集まり笑顔がいっぱいの時
- ・ 家族で笑いながら話をしていた時
- ・ 家族全員で大笑いした時
- ・ 家族が良く笑っているとき
- ・ 家族が笑って過ごせること
- ・ 家族のみんなと同じ事で笑い会えた時に幸せを感じる。
- ・ 家族が元気で仲良く過ごせていること
- ・ 家族と美味しいご飯を食べている時
- ・ 家族一緒にご飯を食べる時
- ・ 家族皆で夕食を食べている時
- ・ 家族と1日の出来事を話しながら食事をするとき
- ・ 家族が無事に帰宅して楽しく夕食をするとき
- ・ 家族で話しながらご飯を食べている時
- ・ 食事や家族で笑っている時など
- ・ 家族で美味しいごはんを食べる。ゴルフ。
- ・ 元気に家族や友人と過ごしている時
- ・ 家族や親族が健康で笑顔いっぱいな時
- ・ 家族や仲間と楽しんでいる時。
- ・ 家族が年末に暮らせること。
- ・ 家族そろって健康で生活できること
- ・ 家庭生活が円満なこと
- ・ 家庭菜園で野菜の使用した料理をみんなで食べたとき
- ・ 家族と話すこと、スマホでやりとりできるようになった。
- ・ 後期高齢者になっても2人で日々を笑顔で過ごしていること
- ・ 家族が「ただいま」と言って元気に帰宅してくれた時
- ・ 家族が健康でそれぞれが目標を持って頑張っている姿を見たり、聞いたりしたとき
- ・ 家族の元気な姿を見たとき。美味しいものを食べたとき。
- ・ 家庭全員元気で仲がいいと思えるとき
- ・ 家族が元気ですごくしている。旅行している時
- ・ 家族もみんな健康でいつも通りの生活ができていること。

- ・ 家族が健康でいてくれること
- ・ 家族全員が健康であること
- ・ 家族が健康で過ごせるとき
- ・ 家族そろって健康なとき
- ・ みんな健康であること
- ・ 家族が健康で生活していること
- ・ 家族が元気に生活していること
- ・ 家族全員健康で毎日過ごせていること
- ・ 全員健康なこと
- ・ 家族みんなが健康であること
- ・ 自分と家族が健康なこと
- ・ 家族の健康で笑顔で一日が過ぎたとき
- ・ 家族が健康でそろって外食を食べている時
- ・ 家族、自分が健康に過ごせている。
- ・ 家族が皆元気で暮らせていること
- ・ 家族が健康で元気であること
- ・ 家族の健康。地域の方の人柄の良さ。
- ・ 夫婦健康で生活している。
- ・ 夫婦二人とも元気なこと
- ・ 家族が健康でおいしく食事ができる時
- ・ コロナ過で家族が感染することなく、過ごしていること
- ・ 家族が元気で過ごしている時
- ・ 家族が元気で過ごせること
- ・ 家族の元気な笑顔
- ・ 家族が健康で笑顔のときとお金に余裕があるときに、幸せを感じます。
- ・ 病気もなく家族でみんなで暮らしていること
- ・ 夫婦健康で過ごせること
- ・ 夫婦で病気もなく生活をしていること
- ・ 3世帯同居で一緒に生活することが幸せです。
- ・ 主人と子どもが笑いあっている姿見たとき
- ・ 子どもが元気に園に通っていくれること。家族が元気である事
- ・ 息子夫婦や孫が健康でいてくれて、優しい言葉をかけてくれた時
- ・ 子どもの成長
- ・ 子どもの成長が見られた時
- ・ 小学生になった子どもの成長を見た時。2歳の子どもの言葉が増えて会話をした時
- ・ 子どもが楽しそうにしている時
- ・ 子ども達の笑顔を見た時
- ・ 子どもたちが笑い、楽しそうに遊んでいる姿を見る時
- ・ 子ども達が成長し、充実した生活を送っている姿が見ること
- ・ 子どもが毎日楽しく過ごせていること
- ・ 子どもの寝顔を見た時。
- ・ 子どもとゆっくりした時間を過ごせる時です。
- ・ 子どもと公園で遊んでいる時。筋トレ後筋肉痛を感じたとき
- ・ 子や孫と楽しく生活できている。安心安全が感じられるとき
- ・ 子どもが来てくれる時
- ・ 子どもや孫が帰ってきた時に一緒に食事や墓参りをするとき
- ・ 子ども達が訪ねてくれた時
- ・ 子ども達が家庭をつくり孫たちが立派に成長して、我が家に来て接してくれる時
- ・ 県外にいる子どもと旅行へ行ったとき
- ・ 離れて暮らしている子どもたちを会えた時
- ・ 息子夫婦が大竹市で一緒に住んでくれること。

- ・ 県外、市外に生活拠点を持っている子どもたちが集まった時
- ・ 子どもたちが独立し家庭を持ち孫も増え元気に過ごせていること
- ・ 子や孫たちと約束をしたとき
- ・ ワクチンを打ちに行くときは娘夫婦が車で送り迎えしてくれます。郵便局、銀行、買い物が近くて便利で一人で動いています。元気です。孫やひい孫のお手紙、写真が楽しみです。
- ・ 我が子を抱きしめた時。
- ・ コロナ時代でたまに孫たちが遊びに来てくれる時
- ・ 毎日娘夫婦や孫と笑って過ごすこと
- ・ 孫たちとの交流
- ・ 孫と会うとき
- ・ 孫が近くに住んでいるので毎日会えることです。
- ・ 孫の顔を見れたこと
- ・ 孫と元気に遊べること
- ・ 孫たちが元気に成長してくれること。
- ・ 孫と海で遊ぶとき
- ・ 遠くに住む孫と毎日のように姿を見ながら通話できるスマホはありがたい。健康に過ごせる毎日が一番幸せです。
- ・ 孫から絵や文字のはがきが届いたこと
- ・ 孫と遊んだ時
- ・ 孫やひ孫が、遊びに来てくれた時
- ・ 姪たちと遊ぶこと
- ・ 親戚たちとバーベキューをしたこと
- ・ 家族親戚が集まったとき
- ・ 友人と遊んだ時
- ・ 友人とおしゃべりしている日々
- ・ 気の合う仲間と語れる場所がある。
- ・ 久々に友達とゲームをした時です
- ・ 友だちと気軽につきあいができること
- ・ 病院通いが多くなったときに友人から電話があり、元気になった。
- ・ 住民同士の交流がもっとできたとき。
- ・ 近所の方が優しい
- ・ 人とおしゃべり
- ・ 近所の人達がやさしく話しかけてくれる。
- ・ 近所の人と話しているとき
- ・ 近所や自治会の人との会話が週一ぐらいあるので楽しい
- ・ 健康で地区の人達とのつながりがあり幸せです
- ・ 人との繋がりがまだまだ見受けられる自治体だと思う。歩いていても挨拶する人が多いことに気持ちの良さがある。
- ・ 道路や公園を掃除をしていると通りすがりの方に声をかけてもらえる時
- ・ 年と共に近所の人達が協力してくれ、日々を心配してくれる。
- ・ 自治会での人の出会いが楽しい
- ・ 地区でサロンを行い、催しに参加できること
- ・ 93才で毎月サロン会に参加し、友達と話をしたり、散歩したりと幸せです
- ・ 地区のサロン活動でおしゃべりするとき
- ・ 子育て支援センターやあいにく館、おひさまルームなど初めて使用して、どの場所でも心温まる接し方でうれしいです。近くの公園病院でもよく町の方に声をかけていただけるので幸せな気持ちになります。
- ・ デイサービスに行ったとき
- ・ ヘルパーさんが介護の手助けをしてくれるとき
- ・ 訪問看護師さんと家族にお世話になっていること
- ・ 人の笑顔で接してもらえた時に幸せを感じる
- ・ 優しい人と触れ合えたとき
- ・ 生涯学習に参加し始めて多くの方と出会えたこと。ウクライナを見て、毎日の生活がとても幸せです。

- ・ 80才過ぎいろいろ助けていただけることに感謝です。
- ・ ボランティア活動で相手から感謝され、「ありがとう」の言葉が幸せです。
- ・ 他人から、ありがとう等感謝の言葉をいただいた時
- ・ あいさつをしてくれる時
- ・ 困っている時に助けてもらった時、美味しいものを食べたとき
- ・ 人の役に立ったとき
- ・ 自由に行動できる
- ・ 健康で趣味を楽しめること
- ・ 寝る時今日も元気で過ごせたなど感じた時
- ・ 今は運転ができるから大型スーパーに行く事が出来る事
- ・ 健康で毎日が当たり前で日常生活ができる事
- ・ 食事が楽しめ、生活に不安のない程度に金銭的余裕があり、安全安心健康に暮らしている日々
- ・ 健康でいる時、お金がある時、家族が健康でいる時
- ・ 健康で食事が美味しくみんなと仲良く活動できること
- ・ 日々健康で生活できている時
- ・ 健康である事
- ・ 90才をすぎて、大病もせず、元気で子ども3人孫7人ひ孫13人でみんな元気なこと
- ・ リハビリに行っている時
- ・ 自分のことは一応できる
- ・ 平和に過ごせ、健康である事
- ・ 普通に仕事して健康で元気にいられること。美味しいものを食べる時やお買い得なものを買う時。
- ・ 高齢者ため健康であれば幸せと感じる。但し、物価高、税金が高くなり、年金が減額となると幸せとは思いません。
- ・ 身体が元気である事
- ・ 高齢ですが一人で動けて食事が美味しく幸せです
- ・ 毎日健康で過ごせること
- ・ 朝目覚めた時、自分の身体ですべてが出来ること
- ・ 健康で人と楽しく話が出来、生活に安定感を感じた時
- ・ 毎日健康であれば幸せを思います。3度の食が元気でいただける事
- ・ 朝起きたとき
- ・ 老人ですが元気でいられることが幸せです。
- ・ 一日元気で過ごすことが幸せです。
- ・ 元気で過ごせること
- ・ 毎日健康で過ごせること
- ・ 毎日健康で過ごせることがしあわせだと感じる。当たり前を当たり前と思わず日々感謝することが大切。
- ・ 毎日普通の生活を送って健康でご飯が美味しく食べられること
- ・ 健康で自分のやりたいことが実行できる時
- ・ 健康で動けることが幸せ。
- ・ 自分が健康であるため
- ・ 80才すぎても健康
- ・ 一日元気に健康で働けたこと。家族が元気で無事に帰宅したこと。食事がとれて排便があること
- ・ 病気になる薬に副作用で発達が遅いがリハビリ中で一步一步機能が戻っていると感じたとき
- ・ 健康であること。自分のやりたいことができること。
- ・ 健康体で運動ができて食事やお酒がおいしく飲んでいる。
- ・ 健康で働けることが幸せです。
- ・ 健康でいられること
- ・ 毎日健康で過ごせている時。友達と会っておしゃべりしているとき
- ・ 健康で外出、身の回りのことが自分でできる事
- ・ 健康で過ごせること
- ・ 毎日が元気で過ごせること
- ・ 健康で好きなお酒を飲む時。週1回家族で食事をするとき
- ・ 元気であること

- ・ 健康で毎日過ごせること
- ・ 元気に日々生活できるだけで幸せと感じなければと考えます。
- ・ 病気の回復したこと
- ・ 健康で、元気に暮らせていること。周りに優しい人が多いこと。
- ・ 胃がんを患っているが、医療施設の充実した町に移住し現在はがんも克服し、幸せを感じている。
- ・ 一人一人が心も身体も健全に成長している姿
- ・ 世代継承にめどが立つ中で、健康をベースにした社会との関わりを維持できている事。
- ・ 私は今大学で県外に住んでいるのですが、長期休暇で大竹に戻り、家族や友達に会った時に大竹に帰ってきたなと思
い幸せを感じます。
- ・ 仕事が休みのとき
- ・ 休日に仕事のことを考えない時間。
- ・ 自宅に帰った時
- ・ 出張から自宅に戻った時
- ・ 仕事、家事がひと段落着いたひととき。
- ・ 仕事終わって何も考え無い時
- ・ 1人暮らしですが、周囲の人や子ども達に助けられ、自宅で生活できること
- ・ 一人暮らしは誰にも邪魔されないのが幸せです。
- ・ 年金生活でも生活出来ていること
- ・ 42年ぶりに大竹に帰ると決めた時就職先が見つかったこと。コロナで外出もセーブして県民割を利用して日帰り旅行
に行ける事
- ・ 収入面、人とのコミュニケーション、自然、交通災害等不安なく、生活が送れることが「幸せだな」と感じます。
- ・ 少ない年金で普通に生活できている。
- ・ 仕事の安定。家族の健康
- ・ 金銭的に余裕があり、趣味に時間を費やせる時
- ・ 自分の生活は自分ででき、趣味があること。孫との交流があること。
- ・ 病院の支払いのとき。ゆっくり、のんびり好きなことを楽しむ
- ・ 自分に感謝出来る事、幸せって自分で築き上げる事。健康である事。出来なかったことが出来たとき
- ・ 健康で登山が出来たとき
- ・ 自分の好きなことが日々できる時
- ・ 健康で一番好きなことをしているとき
- ・ 趣味に没頭している時
- ・ 高速を使って旅行に行ったこと
- ・ 小学校での読み聞かせが一学期からできて、音読で子どもたちの反応を見たり、感想を聞かせてもらったりと心が温
かくなります。
- ・ 毎日が花づくり草取り等、その他
- ・ 自然の中でボーっとする時
- ・ のんびりしている時
- ・ お酒、ビールが飲めること
- ・ 旅行や趣味を楽しんでいる時
- ・ 食事がうまい時。面白い書物に出会った時
- ・ 予定を立てて作業が思い通りに行えた時
- ・ 休日に歩いていける公園など自然の中でのんびり時間を送れること
- ・ 自然の中にいる時。散歩中に自然に声をかけ合える時
- ・ 健康面では薬を飲みながら、自分のやりたいことをできる事
- ・ 自分の生きがい、趣味が出来、安心した生活を送れている時
- ・ 食べたいものがいつでも食べれる幸せ。カーブ大好きで秋山さんが加入されたことが一番幸せです。
- ・ 玖波で犬の散歩をしていて、犬友さんと立ち話をして盛り上がり、可愛い犬と、ともだち、幸せー
- ・ 好きな音楽を聞きながら、ウォーキングしている時。
- ・ 早朝目覚めて、コーヒーを飲みながら、新聞に目を通す。
- ・ 日中草刈りをして、夕方風呂に入ってビールを一杯飲む時

- ・ ひとり親で日々の生活が精一杯の毎日。休みの日にゆっくり眠れる、と思った時に幸せを感じる。
- ・ 仕事をして汗を流してやりきった時
- ・ 仕事が忙しく楽しい。好きな職業につけていることに幸せだなと感じます。
- ・ 物を買った時、笑った時
- ・ 好きなモノを嗜む時
- ・ 美味しいご飯を好きな人と一緒に食べるとき
- ・ 美味しい物が食べられること
- ・ 食事で美味しいものを食べたとき
- ・ 食事したとき
- ・ 美味しいものを食べている時。
- ・ お年寄りや子供立ちが大声で笑っているのを見かけたとき
- ・ 大竹市に住み、子ども達が地域のおかげで立派に育ちました。
- ・ 地方行事に参加した子供たちの笑顔を見る時
- ・ 近所の子供たちが元気に遊ぶ声が聞こえる時
- ・ 自然豊かな町をウォーキング出来る時
- ・ 台風一過の空がきれい、空気おいしい、夕焼けがきれい。
- ・ 子ども達が体育祭を一生懸命に頑張っている姿を見た時、当たり前学校行事を行えることが幸せに思う。
- ・ 子ども達が素直に育ち元気で勉強運動に取り組み、声掛けに応じてくれる。
- ・ 花がきれいに咲いたのを見たとき。子ども達が仲良くしている姿をみたとき
- ・ 市の事業に多くの人に参加した時
- ・ 放課後クラブで子どもが色々なことに取り組んで楽しそうにしている時
- ・ 大竹祭を見る時。みんなで盆踊りを踊るとき
- ・ 小さい子供を見たとき
- ・ 静かで住みやすい市であると感じている
- ・ 地域的には思いのまま動ける範囲に何事も便利で幸せだと思います。
- ・ 町に活気があると感じたとき
- ・ 広島市内への通勤可能なこと
- ・ 大竹駅が新しくなることは楽しみです。
- ・ 南栄2・3丁目に住み、夜は10時ぐらには静かだし、病院、スーパー、駅も10分以内で、生活しやすいと思います。
- ・ 美術館ができる事。橋上線、駅通路ができる事。
- ・ 救急車のサイレンが聞こえたときに守られていると感じる時
- ・ 災害のない町
- ・ 安全に安心して住むことができる時
- ・ 健康で移住地で暮らすこと
- ・ 充実した毎を送れている時
- ・ 日々当たり前のありがたさに感謝している
- ・ 不安や恐怖のない状態
- ・ 争いや戦いのない日本に住んでいること
- ・ 普通の生活が送れている時。戦争のない生活
- ・ 戦争がなく、平和で暮らせることが一番です。
- ・ 幸せの中にいるとわからない者ですが、不自由さを感じないことが幸せです。
- ・ 大竹は災害がほとんどなく、日常がおくれる事
- ・ 大きな災害もなく生活出来ていること
- ・ ロシアとウクライナで戦争が続いているけど日本は平和である事
- ・ ウクライナの戦争や温暖化が進み、生活に影響が出ています。先々に不安はありますが、当たり前生活が出来ることが幸せ。
- ・ 何事もなく日常を送れること。ウクライナ侵攻が気づかせてくれた部分ではあるが皆が「欲をもたないこと」「受け身でいる事」はあまり良くないと思う。
- ・ 普通に事件が起きないこと。

- ・ コロナウイルス感染症の広まりはじめ、今までの生活環境がどんなに幸せだったと思います。コロナが終息して、毎日の幸せを感じながら生きてみたいです。
- ・ 不幸じゃないとき
- ・ 特別な不満がないこと。
- ・ 生きてることが幸せです
- ・ 日々何事もなく子どもと孫と過ごせ、愛犬とゆっくり散歩が楽しみ。
- ・ 77才で仕事をしています。これまで生きてので思い残すことはありません。いつまでも生きていても迷惑をかけるだけなので今すぐにでも千の風になりたいです。
- ・ なんとなく幸せ
- ・ 大切な人が笑顔で過ごすことができる時
- ・ 一日過ぎて今日も無事終わった時
- ・ 1日が何事もなく無事に過ごすことが出来たとき
- ・ 今日ものごともなく一日が終わったなと思うとき
- ・ 普通の生活が出来ていること。
- ・ 当たり前で生活できること
- ・ 当たり前で幸せを感じる。
- ・ 日々平穏無事で過ごせていること
- ・ 平凡な日々を送っていること
- ・ 日々の生活を不自由なく過ごしていること
- ・ 毎日普通の生活ができる環境
- ・ 穏やかに生活ができる時
- ・ 毎日穏やかに過ごせていること
- ・ 平穏に暮らせる時
- ・ 毎日生活が出来ていること
- ・ 日常生活がおくれる事が当たり前ではなく、幸せです。
- ・ 何事もなく過ごせていること
- ・ 何気ない日常がおくれる事に幸せを感じる事
- ・ 家族との普通のおだやかな生活が出来ている時
- ・ 家族に支えられ、今ここに生かされていることがありたく幸せを感じる。ご飯を食べた時、可能性は無限大である、自由を感じた時、空、風、太陽、木々、花など自然を見て感じた時
- ・ 家族が安らかでいられること
- ・ 家族が一日無事に終えてベッドに入る時
- ・ 家族と不自由なく過ごしている時
- ・ 家族が普通に暮らせること
- ・ 家族とスーパーに買い物に行ったり、子供と公園で遊んだりたわいもない日常を送れていることが幸せだなと感じます。
- ・ 家族が穏やかに現実に感謝して生活している時
- ・ 毎日子供たちが元気に学校、保育園に行き、旦那を仕事に送り出し、私も仕事に行きみんなただいまーと帰ってくる。そんな当たり前の毎日が幸せに感じます。
- ・ 心配なことがなく、のんびりと1日が過ごせた時を幸せだと感じる。
- ・ 日常生活が普通に送れること。
- ・ 平凡でのんびりしている時が幸せです。
- ・ 笑えること
- ・ 疲労が報われたとき
- ・ 大きな幸せ小さな幸せがあります。
- ・ 掃除後きれいになったとき
- ・ コロナ過で家の中を片付けをしたとき、すっきりしたとき
- ・ クーポンをいただいた時
- ・ 得した時
- ・ 市民運動会や球技大会に参加していた時の思い出。

- ・ アンケートが届いて、市も努力していることがうれしい。
- ・ 高齢であること日々自覚しつつもおかげ様で無事過ごせております。
- ・ 毎日一人歩いている。「おはようございます」と出会う人に声掛けています。
- ・ 飼い猫が幸せそうにしている姿
- ・ 養老院に入所しているため
- ・ 朝起きたとき
- ・ 認知症で母が入院中も患者さんと一緒に生活させてもらい、病院スタッフの方にはお世話になり、感謝しています。
- ・ コロナ過でもイベント中止される中、「おうちで花火」の企画に感謝します、担当された方やご協賛企業、団体等に感謝します。
- ・ ひい孫が誕生したこと。
- ・ 寝るとき
- ・ 美味しいコーヒーの差し入れを貰った時

その他（幸せではない、世間や市政などへの不満・要望・意見など）

- ・ 年金が少なくなるし、最近では幸せを感じたことがない。
- ・ 普通です
- ・ 幸せだと思わないが淋しいです。元気で一生を終えたいです。
- ・ 行く場所もなく、毎日が暗く幸せを感じない。
- ・ 2、3年コロナで家にいることが多く、友人と話すこともなく寂しく感じる。
- ・ 幸せを感じない。生活が苦しい
- ・ コロナ禍で心底幸せと感ずることがない
- ・ 特になし
- ・ 特に幸せだと感じた事象はありません。
- ・ いじめや虐待、暴力や戦争が無く、誰もが生き生きと生活出来る、格差の無い社会であれば…。身近な事で言えば、私自身は、孫にも恵まれ、皆健康で幸せだと思うが、世の中、世界情勢、子供たちと孫の将来を考えると憂う事が多い。
- ・ 晴海公園で元気に遊ぶ子供たちを見た時。前回の市議選が無投票だった時、とても残念で不幸を感じました。
- ・ アンケートについて、はい・いいえで簡単に答えられる質問内容ではないように思う。これで統計しても、幸せは心の中で感じるもの、人様に語る必要はないだろう。
- ・ 大竹から出たい
- ・ スーパーがイズミ、丸久、しかないので他のスーパーの誘致してほしい。大竹駅前の衰退が激しく、商業施設の誘致してほしい。マロンの里の野菜がおいしいので是非駅前でも出店してほしい。
- ・ コロナ過で30~40代は必死に感染対策をしているのに、高齢者はカラオケだのいろいろ出かけているし、ワクチンについては我先にと老人ばかり。
- ・ 大竹を離れていたが親を見るため帰省したが、人口減少や町の衰退に歯止めがかからないです。
- ・ 30年前市役所から「アンケート」が届き、当時は子育て中だったのもあり、幸せ5★でした。10年20年経過し、近所の人が徐々にこの世を去って30年ほど、ご近所さんの姿が見られない。若者が出て行って「年寄りのまち大竹」というようなことを頭の片隅に考えてしまいます。あのことは楽しかった日々、街並み、これからの大竹は青写真です。さみしい。
- ・ 地域のリーダーとして活動していますが、最近の方は自分勝手に感謝の気持ちを忘れています。時代のせいにしてないで道徳教育を
- ・ 道の駅を作り、だれでも参加できるようにしてほしい
- ・ 地域経済が元気であってほしい。
- ・ 大竹駅の新装を知り、小方駅の新設等地域の発展。地域によっては年々衰退していき幸せは感じません。
- ・ 行政に期待している
- ・ 日本には資源が少ないため、人材育成は大切な課題であるため

スマホなど、インターネットでも回答できます！



アンケートにご協力ください

※このアンケートは、令和4年6月30日現在、大竹市にお住まいの方に送付しています。

「“幸せ実感”大竹まちづくりアンケート」

※回答期限：令和4年7月29日（金）まで

日頃から市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

市では、まちづくりの指針として、将来像や理念を定めた「大竹市まちづくり基本構想」を令和2年度に策定しました。「大竹市まちづくり基本構想」では、おおむね30年後の幸せなまちの未来を描き、実現に向けて「教育・文化」や「産業・雇用」などの分野別にまちづくりに取り組んでいます。

このアンケートでは、まちづくりのテーマでもある「生涯おおたけ やっぱりおおたけ」と市民の皆様が思えるようなまちに近づけているか、普段の生活がよりよくなってきているかの実感を市民の皆様におたずねするものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願いします。

なお、回答者は、市にお住まいの18歳以上の方の中から、「無作為抽出」により、2,000人（地区別層化抽出、男女各1,000人）を選んでいます。（※抽出日：令和4年6月30日）

★ご記入にあたってのお願い★

- アンケートには、この調査用紙をお送りした封筒に書かれた宛名のご本人がお答えください。（ご本人による回答が困難な場合は、代筆されてもかまいません。）
- 調査結果やご意見は、後日、広報やホームページなどで公開します。
- 無記名回答ですので、回答者は分かりません。率直なご意見をお寄せください。
- 回答は、郵便回答かインターネット回答かどちらかを選択してください。
- 郵便回答の場合：
この調査用紙に直接記入してください。同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です。）。返信用封筒の下部にあるバーコードは、郵便局の仕分け用です。ご本人を特定するものではありません。
- インターネット回答の場合：

インターネットでの回答はこちらから。

右記QRコードを読みこんでください。

ご協力をお願いします。



★アンケートのお問い合わせ先★

大竹市総務部企画財政課企画係

電話：0827(59)2125 F A X：0827(57)7130

【アンケート前チェック】あてはまるものにチェックをお願いします。

- アンケートに書面で回答する。 ⇒以下の設問におすすみください。
 □アンケートにインターネットで回答する。 ⇒書面での回答は不要です。
 右記QRコードを読みこんで、アンケートにお進みください



大竹市について、あなたが普段思っていることをおたずねします。まちづくり全体に関するものとあなた自身についての質問があります。
 次の設問に、それぞれあてはまるほうに○をしてください。

	設 問	回 答 欄
A 教育・文化 分野	①広く社会で活躍する人を育むまちづくり 子どもたちが学び、成長できる環境になっていると感じますか。	はい ・ いいえ
	②学び楽しむ心豊かなまちづくり 生涯学習・社会教育・文化活動など様々な学びの場が整っていると感じますか。	はい ・ いいえ
	③一人ひとりを大切にするまちづくり あらゆる人の個性や特徴が認められ、学校や地域社会で活躍できる機会や場があると感じますか。	はい ・ いいえ
	あなたは、自分の人権が保障されていると感じますか。	はい ・ いいえ
B 産業・雇用 分野	④歴史や文化を大切にするまちづくり 地域の歴史や伝統文化が大切にされ、未来に引き継がれていると感じますか。	はい ・ いいえ
	⑤活気ある産業のまちづくり 地元の産業（商業、工業、農業、水産業、サービス業など）に活気があると感じますか。	はい ・ いいえ
	⑥多くの人が訪れるまちづくり 大竹に魅力を感じ、市外から多くの人が訪れていると感じますか。	はい ・ いいえ
	⑦地域経済が元気なまちづくり 多くの人が市内で買い物をし、地域経済が活性化していると感じますか。	はい ・ いいえ
C 生活・環境 分野	⑧安心して働けるまちづくり ひとりひとりのライフスタイルに応じた働きやすい環境があると感じますか。	はい ・ いいえ
	⑨快適で暮らしやすいまちづくり 生活に必要なインフラ（上下水道、鉄道、バス、道路など）が整い、快適な生活環境になっていると感じますか。	はい ・ いいえ
	目的地までの移動がしやすいまちだと感じますか。	はい ・ いいえ
	⑩自然と調和するまちづくり 豊かな自然が守られ、景観を生かしたまちづくりが進んでいると感じますか。	はい ・ いいえ
環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいであり気持ちが良いと感じますか。	はい ・ いいえ	
分野	⑪楽しさと憩いにあふれるまちづくり 公園など、様々な世代が楽しめる魅力的な場所があり、居心地が良いと感じますか。	はい ・ いいえ
	⑫環境にやさしいまちづくり ごみの減量化やリサイクルなど、「循環型社会」への取り組みがされていると感じますか。	はい ・ いいえ

設 問	
次の6分野の中で、特に力を入れてほしいものをAからFの中から1つ選び○をしてください。また、選んだ理由やこうしたらいいと思う対策などを記入してください。	
回 答 欄	
番号に○をしてください	理由や対策などをお書きください。
A	教育・文化 分野
B	産業・雇用 分野
C	生活・環境 分野
D	安全・安心 分野
E	健康・福祉 分野
F	自治 分野

ま
と
め

最後にお尋ねします。あなたはどのような時に幸せを感じますか。最近「幸せだな」と感じたことを教えてください。



記 入 欄

あなた自身のことについておたずねします。次の質問について、あてはまる数字に○をしてください。

(1) 性別

1	男	2	女
---	---	---	---

(2) 年齢

1	18歳～29歳	4	50歳～59歳
2	30歳～39歳	5	60歳～69歳
3	40歳～49歳	6	70歳以上

(3) 住所

1	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野	5	防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷
2	西栄、南栄、東栄、北栄	6	玖波、玖波町、湯舟町
3	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海 黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘	7	松ヶ原町
		8	栗谷町
4	阿多田		

このたびは、アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

未来の幸せづくりに向けた新しいまちづくりの計画「大竹市まちづくり基本構想」を作りました。絵本のようなイラスト中心の冊子です。市ホームページでも詳しく紹介していますので、ご覧いただければ幸いです。




↑ ↑ ↑
こちらのQRコードを読み込むとホームページが見られます。